大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞 夕刊
八月二十四日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用 三二二〇 營業部專用 三三〇〇
發行人 十河 榮
編輯人 松本 ……
印刷人 水越內之介



# 滿ソ國境制定委員會 外務、陸軍對策協議

## 大橋外交部次長も東上の上 滿洲國の意嚮を說示

【東京國通】十七日の廣田、ユレネフ會見の際にソ聯側の提示せる滿ソ國境委員會試案を外務省では

**直に** 滿洲國へ移牒する一方、歐亞局でも愼重審議を重ねて居たが軍事的立場よりも充分檢討を加へる必要があるので外務省では近く陸軍當局と聯合協議會を開催し對策を決定する事となつた、ソ聯の提案は千九百三十三年のポーランドとの調定條約に準據したもので曩に提示せるルーマニヤとの同種條約より我方の主張に接近してゐるが、なほ日滿兩國の主張とは懸隔あり、外務省では陸軍との協議會を開き協議の上滿洲國の回答を參酌し獨自の試案を提出する模樣である、我國の試案は紛爭の豫防を目的とし紛爭委員會と並んで國境制定委員會を置くことを目的とし紛爭委員會と併行的に國境制定委員會の設置、國境地方撤兵も

**提案** されるものと信ぜられる、尚外務省では滿洲國側の意向聽取のため近く滿洲國外交部次長大橋忠一氏の上京を求める筈である

大橋外交部次長

## 濠毛輸入 本年度累計

【大阪國通】大阪濠洲同盟調査にかゝる八月中のニュージランドを含む濠毛輸入は總計三萬三千四百六十三平方碼で結局本年累計六十九萬五千二十一俵と僅々五千俵弱の差で七十萬俵を突破しなかつたが過去の最高記錄一千九百三十二年より三十三年度の六十八萬八千二十六俵を突破し新興產業の輝かしい一頁を加へたもので本年度輸入シーズンの幕を閉ぢた

## 日本綿布輸出旺盛 今年も王座に

【大阪國通】輸出綿糸布同業會調査、本年上半期日英綿布輸出總數量は日本一、三八四〇五九平方碼、英國一、〇〇〇、九八九平方碼で日本は三八三、〇七〇平方碼の優勢を示し下期も引續き好調なれば日本綿業は本年も世界綿業の王座に君臨する譯である、仕向地別に觀ればアジヤは日本綿業、歐洲はランカシア綿業が絕對的地盤を占め、アメリカ、アフリカの二洲及び太平洋諸國は日英相接近して居り僅かに日本のリードに終つてゐる

國別に觀れば英國は一九三四年五月英領植民地に輸入割當制施行の結果英領各植民地並に保護領に於ては壓倒的優勢を示しブロック經濟の效果を裏書してゐる

## 米棉市場大波瀾

（ニユーヨーク廿三日發國通）ニユーヨーク棉花市場は二十三日緊張裡に蓋を開けるや俄然絕望的に賣物殺到、十月限寄付相場は十仙四十五と廿二日大引相場に對し一擧八十三ポイント安を示して、尙十月限は寄付後間もなく十仙五十六に恢復した

# 非戰區內に於る不法射擊事件頻發 我軍でも嚴重監視

【承德國通】漸く小康を得つゝある非戰區地帶に於て又復十二日から十七日にかけ四回に亘つて日本官憲が支那民團より不法射擊を受けた

**事件** あり、今更乍ら支那側の誠意を疑はしめてゐる、即ち十二日建昌營警備隊の下士以下四名が公務のため灤河を航行中遷安附近に於て支那側自衞團より數發の不法射擊を受け、翌十三日は既報の如く水運調査の使命を帶び灤河航行中の中根領事一行が撒河橋南方半里の地點で自衞團の不法射擊に遭ひ、越えて十六日は遷安の東方約十キロの地點に於て我憲兵二名が射擊され、十七日は建昌營警備隊の下士以下四名が山海關に向ふ途中遷安附近に於て發砲されたが何れも幸ひ我方には損害がなかつた最近の灤州事件未解決の今日非戰區內に於て斯くの如き不法射擊事件の頻發は遺憾の極みで或は近時非戰區內に横行する宋子文匪に刺戟され恐怖のあまりの

**行爲** とも思はれるが諸情報を綜合するに故意の行爲と認む可き節多く我軍に於ても嚴重に注目しつゝある

## 南洋海運會社 九月一日より營業開始

【神戶國通】南洋海運會社の內紛解決に依り愈々營業開始は九月一日と決定した、よつて九月には本邦の港に最初に到着する船から漸次新會社に引繼ぎが行はれることとなつた

## 要塞地帶に停船する米國怪貨物船 =撮影の嫌疑濃厚=

【大分國通】廿二日午後五時大分縣佐賀の關沖合に於て某國々旗を掲揚せる貨物船（約五千噸）が停船し居れるを要塞監視員が發見、遭難せるものと思ひ救助船を出したところ直ちに逃走を企てた、尚ほ右怪貨物船は停船中寫眞を撮影せる形跡があるので佐伯航空隊では直ちに偵察機を出動せしめ該船を搜査せしめたるも發見する能はず、全國に手配中のところ廿三日午前八時大阪憲兵隊より該汽船が山口縣德山港に日本ソーダの原鹽を積んで入港せりとの急報があつたので係官は直ちに現場に急行該汽船を取調べた結果怪汽船は米國所屬汽船ゴールデン號（船長シエーフエン）と判明、德山憲兵分駐所に於て目下取調べ中

寫眞 榮ある第一回觀艦式に參列する爲め式場松花江鐵橋下に參集する滿洲國軍艦

# 刻下の― 重要問題を中心に 有吉蔣兩大使懇談

【上海廿四日發國通】滯京中であつた駐日大使蔣作賓氏は廿三日午後來滬した、同大使は廿五日當地出帆のエンプレス・オブ・エーシア號で歸任の途に就くが、それに先立ち廿四日午前中に有吉大使との會見を行ふことゝなつてゐる、右會見では蔣大使は蔣介石氏との會見內容、汪精衞氏の復職顚末等に觸れ國民政府の對日方針の不變なるを強調し日支問題を中心に懇談する模樣である

## 青森豪雨熄まず 田畑林檎園被害九千町步

【靑森國通】廿一日來の豪雨は廿三日に至り一時晴間を見せたが午後に至り再び大雨沛然として來り北津輕郡の各河川氾濫し附近各村は全く濁水に包圍され消防組、在鄕軍人總出動で警戒してゐる、此狀態が續けば各町村とも非常な災禍に見舞はれるべく憂慮されてゐる、尙今回の豪雨出水の爲め靑森縣下の田畑、林檎園等の被害は九千三百餘町步に達してゐる

## エチオピア義勇軍志願 上海で大繁昌

【上海廿三日發國通】既報上海に於るエチオピア行き義勇軍募集はその後益々大繁昌で一日平均五、六人の申込者があり、流石は國際都市上海である、廿三日は白系露人の外英人一名米人二名の應募者があつた

## 蔣氏成都へ

【南京廿三日發國通】汪精衞氏の辭意撤回で時局も一段落ついたので蔣介石氏は廿三日午前八時半夫人同伴飛行機にて南京發成都に向つた

## 汪精衞氏 辭表撤回を通電

【南京廿三日發國通】汪精衞氏は廿三日午後林森主席以下國民黨政府各要人に宛て辭表撤回の通電を發した

## 日比協會 第一回會合

【東京國通】比島獨立を前にして創立せられた比律賓協會は廿三日午後四時から麻布の事務所で役員會を行ひ、會長德川賴貞侯、副會長岡部長景子、外務省アメリカ局長堀內謙介氏等參集、日比兩國の文化向上を圖るため教授學生の交換、在留比島人社交機關開設等協會の事業に關し懇談を爲した、會式は近く協會の正式登記を終り次第に擧行の筈である

寫眞 童子團指導の三島子今朝着京（寫眞はヤマトホテル前にて右三島子）



## 三井銀行に追隨 直系三社も 積立金全給

【東京國通】三井銀行が退職手當支給率改正に伴ひ八百四十萬圓の積立金を提出して社員に分配する話は既報の通りだが、三井銀行のみならず三井王國の三井物產、三井鑛山東神倉庫と三直系會社もこれに追隨して總額五千數百萬圓（三井銀行も含む）の紙幣束を奇麗さつぱりと社員にばらまく事となつた三井王國はこのところインフレ景氣で三井銀行をはじめとし九月か遲くとも十二月中には六千人の社員に一齊に支給されることになるので三井社員は早くも狸の皮算用にほくほくしてゐる

## 赤木警部補 二十五日朝赴任

總領事館農安分館警察署長赤木又一警部補は今回の異動で貔子窩署勤務を命ぜられ二十五日午前八時發赴任するので二十四日暇乞挨拶に來社した

## 高橋警部補 けふ着任

農安分署長より貔子窩署勤務を命ぜられた赤木又一警部補は二十三日來京二十五日午後八時で出發赴任する豫定であるが後任高橋守藏警部補は二十四日午後二時着の列車で來京した

## 藤本警部赴任

關東局警務部衞生課より錦州署長に轉任の藤本重一警部は二十四日午前十時發列車で多數見送りをうけ赴任した、なほ警務部警備課勤務阪本警部は二十四日午後五時三十分着列車で同じく警務部警備課勤務井原直美警部補は二十五日午後五時三十分着列車でそれぞれ着任される

## その日く

□ ソ聯兵滿洲國郵便夫に不法行爲、佛の顏も三度といふことがあるが、この手合ちよつと……

□ 初等教育精神作興大會嚴肅裡に終る、大會にのみ精神を作興せぬやう日ごろの訓と行に

□ 野犬、街頭に幼兒を咬み、狂水病に落す、これ以上不幸な受難はあるまい

□ 入船町に追剝邦人を襲ふ、「滿洲國の警官だ」との言ひ草がどうも……

□ 天候漸く定まり爽涼の氣漲る健康を取戾すはこの一ヶ月須らく郊外へ！戶外へ

## 人事往來

▲長谷部少將（豫備）二十三日午後發大連へ
▲張燕卿氏（外交部大臣）二十四日午前歸京
▲三島通庸子（大日本少年團理事長）同來京
▲平島敏夫氏（協和會囑託代議士）二十四日午前東京へ
▲河本大作氏（滿鐵理事）同大連へ
▲長岡隆一郎氏（總務廳長）二十四日午前歸京
▲名古谷行藏氏（ハルビン洋灰公司）二十三日午後來京名古屋ホテル
▲井上彌兵衞氏（西宮、松竹酒造會社員）同
▲小野儀七郎氏（宮城縣產業調査局）同
▲木村秀儀氏（大連三井物產會社員）同
▲岡田光治氏（同）同
▲中山桂三氏（大阪瀧定綿布貿易部）同
▲藤原憲太郎氏（大阪自轉車業）同
▲田中信良氏（滿鐵囑託）廿三日午前來京ヤマトホテル
▲カール、エー、バルザー氏（駐哈ドイツ總領事）同
▲西村眞次氏（早大教授）同
▲杉原正已氏（東京著述業）同
▲岸道三氏（滿鐵社員）同
▲中村明星氏（新聞解放鮮滿支社長）二十四日午前來京
▲藤本重一氏（關東局警部錦州署長）廿四日十時發赴任
▲阪本義二三氏（關東局警部）廿四日午後二時三十分着任

### 團体

▲大阪池田師範學生七十八名二十四日午後七時二十五分來京、同十時發南行
▲滿洲電氣大會出席者團百四十四名二十五日午前七時三十五分來京

## 光りの彼方に 大林梅子作

8 幼な馴染（二）

佐智子は、志村に、多美枝を紹介してから、更めて、かう說明したのです。

『志村さん、多美枝さんは、貴下の同鄕の方で、然も、幼友達なんです……』

『さうでした！』

佐智子の說明を俟つまでもなく、志村は、二度目に見た時、既に、思ひ出してゐたのでした。

かれの故鄕の田舍町に、昔から釀家として知られてゐる溝口屋といふ造り酒屋があつたのです。茅ぶきの大きい母家には、古い土藏が、裏庭に面して三戶前からあつたのです。

その酒藏でないはうの倉庫で志村は、その幼年時代を送つたのだとも云へるのです。朝から其處へ遊びに行つて、村の『腕白同志』と、一日を遊び暮らしてゐたのです。——

或る時などは、多美枝と志村と夫婦にさせられて、恥しいままごともさせられた事もありました。今も、志村として、かうした幼年時代に恥ることがあると、かれは、かならず倉庫の中の匂ひを憶ひ出すのでした。

然し、その酒屋は、志村が小學の四年の時に、どうした理由か、東京へ引越して行つたのです。おそらく、家が立ち行かなくなつた所爲であらう？——

『遠い昔ですが、未だちやんと憶えてゐます……』

と、志村は、思ひ出す儘に、その時分のことを話し出したのです。多美枝は、すらりと背丈の高い體を、少し、前屈みにするやうにして、志村の話すのを聽いてゐたのです。

時には、黑い眸を瞬ひに輝かして無言の口唇を、へてゐました。白粉氣は少しもないのに襟足の線が透きとほるやうに白いのを、何故か、志村は、むさぼるやうにして見てゐました。

『東京へ出てからは、其の後、どうなすつたのですか？』

志村は、其の後の多美枝の家の事情を知り度いと思つて、思はず、かう云つて多美枝の返辭を待つたのです。

『………？』しかし、それに對して、何故か、多美枝は、答へやうとはしなかつたのです。

眼ひなしが、俯向いてゐた多美枝の顏には、かすかに、淵の光りがあるやうでした。それで志村は、これは、自分として飛んで愚問を發したものだと氣がついたのです。

×　×

麴町のSビル二階の三室を占めてゐる昭和出版商業會社は、長距離電話を二本と、普通電話を四本も所有してゐる。——

その一番號數の若い小使室の電鈴が先刻からしきりに鳴り響いてゐるのです。事務室へお茶を運んで歸つてきた小使が、直ぐ受話器を耳にすると、

『そいぢや、どうしてゐるのよ？』

と、環といふ、社長の令孃の聲走つた聲でした。

『兄さん、どうしてゐるの？一寸呼んで頂戴よ！兄さんを……』

小使の老人は、恐縮して電話を切ると、直ぐ、事務室へ驅け込んで行つたのです。和室に直すならば三十疊も敷けさうなグランド・ホールの白壁の天井に、風車式の大煽風器が物凄い音響を立て舞つてゐる。その下では百人に近い男女の社員がしきりに事務を取つてゐる最中です。

# 長嶺、雙山兩縣下にペスト續々發生
## 試驗の結果何れも眞性と決定
## 罹病者は殆ど死亡

二十三日午後から二十四日にかけ新京滿鐵保健所への入電によると長嶺縣東北東コロガイおよび三合堡に各一名のペスト樣患者發生したが試驗の結果眞性と決定なほさきに同地で死亡した十五名も眞性ペストで前郭旗方面から來たものである、また洮大線舍利驛より驛西南八支里東老牛權にも同樣眞性ペスト發生、なほ雙山縣で疑似ペストとして隔離中のもの二十二日三名死亡、現患三名もいづれも二十三日夕刻に至り眞性ペストと判明、現地防疫班で頻りに活躍中である

## 第二回初等教育精神作興大會
# 嚴肅裡に終る
## 熱辯を振ひ研究事項發表

滿鐵初等教育研究會主催第二回教育精神作興大會は二十四日午前九時三十分から白菊小學校において開催された、これより先滿鐵關係各小學校より參會した教員一千二百余名は午前八時四十分同校前に集合八列縱隊の隊形を整へ朝露を踏んで忠靈塔に參拜し地下深く眠る護國の英靈に無言の感謝の祈りを捧げた

斯くして定刻一千二百余名の全員は講堂に參集、來賓として地方事務所武田、神崎正副所長を始め野村社會主事、關東軍山本大佐、關東局大貫視學、區長代表小澤願次郎、滿人側より長春縣公署より宋縣長、張教育局長ら二十餘名參列

式は先づ滿洲教育研究會副會長荒木鞍山公學校長の司會の下にはじめられ、中西滿鐵地方部長の教育勅語および教育精神作興に關する勅語の捧讀吉信鞍山小學校長の宣言の朗讀、中西地方部長の訓辭を以て十時二十分嚴肅裡に式を終つた、斯くして十分間の休憩の後十時三十分からいよ〳〵本大會の重要課題たる研究事項の發表に入つたが各發表者は日頃の蘊蓄を傾倒して壇上に堂々の熱辯を振ひ晝憩の後午後一時三十分から河邊關東軍第二課長、林出大使館書記官の講演を以て意義深き本大會を終つた、研究發表の主題および發表者氏名は左の如くである

▲一部(日本人側)
現代躍進日本國史より觀たる滿蒙教育の特殊性　瓦房店小學校　上釜訓導
滿洲教育の內容　新京西廣場小學校　大室訓導
日本國民の滿蒙發展の歷史的意義　撫順永安小學校合志訓導
滿洲教育の特殊性より見て和魂(ニギミタマ)の顯揚を强調す　奉天千代田小學校　久原訓導
滿洲教育の特殊使命と教育者の態度　蘇家屯小學校　藤原訓導　安東大和小學校芦田校長

▲二部(滿人側)
滿洲建國精神を体し民族融和の趣旨に基き日滿不可分の關係を兒童に徹底せしむる方策如何
新京公學校　植松金枝
奉天公學校　邊鉅麟
蓋平公學校　四宮春行
公主嶺公學校　馮書元
開原公學校　上田繁次郎
熊岳城公學校　劉志霖
(寫眞は忠靈塔參拜の一行)

## 街の日記

**白ゆり會向上會**　白ゆり會向上會では全滿巡講中の赤本氏來京を機とし二十五日(日曜)午後一時から修養會館で講話と座談會を催す

**日本メソヂスト新京教會集會**　八月二十五日午前十時半　記念公會堂にて　「所感」　中西淵三郎

**日本組合新京基督教會**　廿五日(日曜)於日本橋通八三大信洋行三階同教會集會所　日曜學校午前八時三十分より　同朝拜　午前十時より　說教「主に淨められて」九州部會長鹿兒島教會牧師渡瀨主一郎氏　同夕拜　午後八時より　聖書研究(ペテロ後書一章)　渡瀨常吉牧師

**新京日本基督教會**
一、日曜學校　午前九時
二、朝拜　午前十時十分「聖名を崇めさせ給へ」吉川牧師
三、夕拜　午後八時「永遠の生命」吉川牧師

## 今夜一部斷水
### 入船町からダイヤ街方面

鐵管切替その他の工事のため二十四日午後十一時より翌午前二時まで、入船町より老松町に至る八島通の一部および永樂町の一部が斷水することゝなつた

# 遊戯中野犬に咬まれ二月目に狂水病
## 滿鐵へ勤務の滿人社員の息

新京地方事務所土木手本籍河北省生れ市內室町一丁目七番地の二張振聲の長男張紅量(七)は七月六日午後三時頃自宅附近の路上で遊戯中、附近を徘徊してゐた野犬に咬傷をうけ直ちに市內三笠町三丁目二十二番地康生醫院にて應急處置を受けると共に、加害犬は狂犬の疑があるといふので同醫院でその日から七月二十七日まで狂水病豫防注射をうけ其後何等の異狀を認めなかつたが突如廿二日に到り痲痺、全身の違和を感ずるので即刻康生醫院古市醫師の診斷をうけた結果狂水病と診定された屆出により患者は滿鐵醫院に收容すると共に、發生場所及び病毒汚染の物件は嚴重消毒を施し目下傳染の有無を調査中である、なほ加害犬は撲殺された

## 入船町に追剝

二十四日午前三時二十分頃市內入船町三丁目七番地饂飩行商人福田三郎氏が、城內西五馬路三福樓前より東三馬路居住洋車夫任德元(四六)にトタン製肉入二個其他在中の風呂敷包みを托し、入船町と東三條通交叉點附近まで歸つて來ると一見密偵風の支那人が現はれ「俺は滿洲國の官吏だ調べる筋があるから荷物を出せ」といふなり風呂敷包みを奪つていづれにか逃走した、屆出により新京署では目下犯人捜査中

## 詐欺賭博犯逮捕

本籍朝鮮平北宣川生れ住所不定無職田畝永(二五)は本年一月頃郷里に於て詐欺賭博をなし數百圓を所持して逃走手配により新京署にて犯人捜査中のところ二十三日午前十時頃市內三笠町三丁目附近を徘徊中新京署員に捕はれた

## 盗んでモヒに代へる

本籍蔵北明川生れ目下住所不定無職孫龍變(二二)は窃盜容疑者として新京署に於て捜査中二十三日午後七時頃祝町五丁目路上に於て發見本署に連行取調べの結果十數回に亙り洋服、靴、衣類等を窃取しモヒ代にかへてゐたことを自白したが餘罪ある見込みで目下嚴重取調中

## 釣魚大會延期

新京驛では來月一日(日曜)に開原又は平頂堡で魚釣大會を催す豫定で二十三日係員に兩候補地の下檢分を行はせたが少し時期が早いため月半ばごろに延期した

## 台覽の光榮を擔ふ
# 七都對抗庭球試合
## 九月一日西公園コートにて
## 準備協議會終る

滿洲國皇帝陛下台覽並に七大都市對抗庭球試合は愈々來る九月一日西公園コート(台覽試合は宮內府コート)に於て開催に決定したが、これがため準備協議會を二十二日午後一時より市公署に於て開催したが出席者は主催者側より植田總務處長、黑田滿洲國体育聯盟幹事長、幸田協和社會科長、原田網球協會理事、野村地方事務所社會係主事代理加藤全新京庭球部監督等參集左記諸件につき協議同四時散會した

一、役員推薦之件
二、紀念章之件
三、優勝カップ之件
四、選手宿泊之件
五、服裝規定之件
六、慰勞宴之件
七、台覽試合出場八選手之件

尙ほ植田處長、黑田幹事長、原田理事は二十三日午後一時より宮內府庭球コートに至り下檢査をする處があつた

# 銅製狗犬一對榊谷氏が奉納
## 神社拜殿前を飾る

大連榊谷組主榊谷仙次郎氏は新京神社に銅製狗犬一對を奉納すべく、二十四日地方事務所を經て申出でた、同狗犬は拜殿前の兩側に据えられるが價格は二千圓以上に上る立派なものである、なほさきにみしまや吳服店から申出でた石造の狗犬一對は第二鳥居前の兩側に置かれることになつてゐる

## 柔道段別試合豫選大會

滿洲柔道段別選手權大會は來る九月十五日大連で擧行されるが同大會出場選手の第七區(鐵嶺以北)の豫選大會を一日午前九時から商業學校道場で擧行、申込者は二十八日までに地方事務所社會係(電11〇九一)に申込まれたいと

## 弓道場開き

新京体育聯盟弓道部道場は地方事務所新築のため取り除けられ以來同部で場所選定中のところ現地方事務所構內に新設工事中のところこのほど完成したので二十五日午後一時から部員出席し左の式次により華々しく道場開きを擧行す

一、開會の辭(理事長)
一、鹽祓矢渡式(谷口教師)
一、禮射(全員一同)
一、競射(二十射)
一、納射(谷口教師)
一、賞品授與
一、閉會の辭(谷口教師)

## 日の出を拜するつどひ

二十五日(日曜日)朝四時四十分より西公園誠忠碑前にて(新京日出時刻四時五十三分)市民早起會六時

## あす二十五日

▲新京體育聯盟弓道部道場開き午後一時地方事務所構內
▲佐賀縣對全新京劍道試合　午後一時警察道場
▲全撫順對全新京相撲大會　新京神社境內
▲全滿小學校教員對全新京庭球大會　午前九時西公園コート
▲藤倉電線對滿洲國第二回野球戰　午後三時西公園球場
▲滿洲國童子團指導員實修所入所式　午後二時西公園海軍記念碑前
▲王道學會老子學講義　午前九時半記念公會堂
▲白百合會向上會　午後一時修養會館

**今晩の主なる放送プロ**
▲六・三〇　歌謠曲(東京)ヘレン・本田
▲六・五〇　舞臺劇(東京)薮の里

**けふの銀相場**
國幣對金票　[illegible]
鈔票對金票　[illegible]
國幣對鈔票　[illegible]
現大洋對鈔票　[illegible]

## 關東軍二課三班と記者團野球

軍司令部第二課對記者團野球戰は二十五日午後二時から地方事務所歡式グランドで行はれるが、當日は河邊第二課長を始め林新聞班長まで應援にくり出すので賑やかな試合が見られるだらう

## 日本學生軍勝つ
### 對チエツコ陸上

【プラーグ廿二日發國通】日本學生遠征軍は廿二日チエッコスロヴアキヤチームと對抗競技を行ひ六十四點對六十一點で日本軍優勝した



## 京大線發着ホーム變更

新京驛構內橫線替へのため京大線發着を三十一日まで第二ホーム南側(現在あじあの到着ホーム)へ變更される

## 新京鐵路局 來月十五日移轉

吉林に新築中であつた鐵路局新廳舍も漸く竣工したので新京鐵路局ではいよ〳〵來月十五日に移轉、同日から吉林で執務の豫定である、なほ十五日から名稱も吉林鐵路局と改稱される

## 帝都流行性腦炎熾烈を極む

【東京國通】帝都を襲つた流行性腦脊髓膜炎に警視廳防疫課では必死の防疫陣を張つてゐるが、同課の調査によれば今年度に於ける帝都の罹病者數は今年一月より七月末までに十二名で全部死亡、八月一日より廿一日までの罹病者は五名でこれまた全部死亡、同廿二日は三名流行性腦炎と確定して內一名死亡、廿三日は十名確定して內二名死亡といふ狀況であり罹病したが最後殆ど助からないといふ有樣であり何分病原體も豫防法も判らぬ事とて疫防課でも手を燒いてゐる

## 八十五萬圓の金塊密輸

【大阪國通】自動車に一萬圓の金の延棒を遺留した事件から發覺した上海廣州路寶興里松原洋行店主松原晋三郎(五三)の密輸事件はその後引續き取調中の所昭和八年以降廿五回に亙り金塊約八十貫(八十五萬圓)を密輸したこと明瞭となり廿三日一味十三名全部を逸局檢事の取調べを受けたが今明日中に關稅法違反として起訴される筈である



## ルイチコフ將軍

【ハルビン國通】今春二月創設された白系露人事務局事務長として專ら病弱の身を全滿白系露人の幸福と繁榮の爲に捧げたルイチコフ將軍は廿日午後四時五十分宿痾の爲遂に永眠した、享年六十五

當地在住の白系露人は滿腔の弔意と感謝を捧げると共に昔日に於る相互の私情を一擲して渾然一體となり一致協力之が善後處置に當り一糸亂れざる統制振りを發揮してゐる、之が爲白系露人事務局は故將軍を失つたとは云へ在住白系露人の麗はしきロシア魂の發揮により將軍なき後の事務局の發展も亦刮目に値すべく、將軍も安んじて永眠し得られるであらう、尙同將軍の葬儀は廿五日當地に於て全滿各地より白系露人代表參集の上盛大に擧行される筈である

## 天氣と氣温

明日の天氣　北東の風晴一時曇
日の出　午前四時五十三分
日の入　午後六時二十八分
月の出　午前〇時四十九分
月の入　午後四時二十六分
けふの氣温　最高　二十七度四　最低　十五度八

## 新京教化聯盟基金寄附

新京教化聯盟基金寄附その後の申込は左の通り
▲二十圓　滿洲電業株式會社　吉田社長
▲十圓宛　善世堂　河野五百里　三笠町　宮崎竹次郎　祝町　赤羽一二　老松町(吉川組)吉川康
▲五圓　新京驛賣店　久保田ケサヱ
▲十圓　三笠町西川醫院　謙　秋官
▲五圓　新京金光教
▲二十圓　永樂町二丁目　大原萬千百
▲五圓　白菊會　獨富美須子
▲二十圓　鐵道事務所長　古川達四郎
▲十五圓　峰長春堂　峰直
合計　一四〇圓
累計　二四二圓

# 誰が殺したか（上卷）

國枝史郎氏作　龍造寺踏畫

## 第二の殺人　四八　一八

古川刑事は増々探偵的興味が湧いて來るやうにその顔をひどく輝かした。

『お嬢樣・誤解しないで下さい私どもは貴女のお姉樣の事件で夜も眠らずに、かうして奔走して居ります。貴女はその遺書をお見せ下さることは私どもをどんなに助けることになるか知れません。若し秘密として守らなければならないことでしたならば私は斷つて他に洩らすやうなことはしません。どうぞ、お願ひいたします、拝見さして下さい。お嬢さん。この通りお願ひいたします』

刑事は熱心を顔に現はして手をついて頼んだ。

さすがに房枝子も今は斷ることが出來なくなつた。刑事の巧妙な技巧は見事に効を奏して、令嬢の頑な心隔を躊躇もなく陥落さしてしまつた。

房枝子は直に遺書を持つて來た。そしてそれを刑事の前においた。

古川刑事は小躍りするやうな喜びを感じて柔かなそしてまた嚴しいペンの跡を辿つた。然しながらその遺書から發見されたものは可なりに暗示的なものであつて、遺書につかみ得る何事をも語られてはゐなかつた。けれどもさすがに離縁狀してこれは見逃すことの出來ない材料だと考へられた。そしてそれは鞄底で寫しとつてから藤五郎を呼んで貰つた。房枝子が出て行くと入れ換はりに藤五郎が入つて來た。藤五郎は鼻の先の油汗を手拭ひをまるめて拭きながら窮屈さうに畏まつて坐つた。

「ちよつとお前さんにたづねたいが、お嬢さんに渡した手紙は何時房枝子さんからお前に頼んだものかね」

『へえ、あれはお亡くなりになつた前の日のお晝でした。へえ、お嬢樣が藤五郎ちよつとお出でと呼ぶものですから何かお叱りのことでお小言でも頂戴するんぢやないかとわつしはびく〳〵ものでお側へ行つて見るとこれを一週間ばかり經つた後に別莊で房枝子お嬢さんに渡して呉れと仰しやるんです。どんなことが持上がつてゞも、どんなことが起つても誰へも、洩らしつちやいけない。大事に隱しておいてないしよで渡して呉れとかう仰しやつたんです。わつしはそのお言葉を今まで一生懸命守つてゐたつて譯でして、どうも旦那、へえ、恐縮です』

藤五郎はきまりが悪さうに、苦しく笑つて頭をかいた。

『それだけの事だね』

『へえ、それだけのことです』

『嘘ぢやないね。嘘をいふとお前さんのためにならないからね、後でまた、警視廳に呼ばなけやならないことになるからね』

『旦那、わつしは嘘なんかいふ男ぢやありません』

『さうか、それぢやあお前さんは此處へ來る時東京驛でこの私と顔を合したね』

『へえ、さうだつたですかねえ……』

『さうだつたぢやない。お前さんはわしの顔を見て逃げるやうにしたぢやないか。何かやましい處があるから逃げ隱れやうとしたんだらう』

刑事の目は鋭く藤五郎の顔へ打ちかゝつて行つた。

『へえ、旦那、どうもすみません。こちらのお嬢樣へあの御手紙をお渡ししない中は何だか恐いことをしてるやうな氣がしたもんですから……』

（この篇今野賢三作）

7日間

---

映畫と演藝

# 人氣を沸かす 帮間（おとこげいしや）珍藝大會 いよ〳〵今夕限り

全滿花柳界の男藝者どもを集めた「帮間珍藝大會」は二十三日午後六時より記念公會堂においてまことに賑々しく蓋を開けてみせたが案の狀物凄い人氣を博した、日取の關係で會期は二十四日限り、昨夜同樣多彩なプロで御氣嫌を取り結ぶことになつてゐる

# ●映畫物語● エノケンの醉虎傳

新京キネマ上映中

脚色　P・O・L文藝部
同　エノケン文藝部
監督　山本嘉次郎
撮影　唐澤弘光
作曲　紙恭輔
同　栗原重一
錄音　早川鋼二

―配役―

エノモト　榎本健一
二村　二村定一
ヒゲ　如月寛多
モリ　森健二
エノモトの父　柳田貞一
エノモトの母　英百合子
エノモトの姉　花島喜世子

綾乃の良人　吉川道夫
リラ子　堤眞佐子
マチ子　千葉早智子
トリ子　堀越節子
女舍監　武智豐子
堤先生　丸山定夫
課長　藤原釜足
伯爵　大川平八郎

（解説）―「戀愛スキー術」を最後に日活を退社した山本嘉次郎氏のP・O・L入社第一回オールトーキーで、レヴュウ界の人氣者エノケン、二村等が初の映畫出演・P・O・L及びピエル・ブリアント一座が應援助演してゐる

（略筋）―級友達が試驗勉強に夢中になつてゐるのに、エノケン・二村・如月の愉快な三人組は、いつも朗らかに唄ひ唄つては醉ふといふ有樣だつた。同じ學校の女子部にゐるリラ子、トリ子等の三人組も仲々に朗らかなフラッパーである日女子部寄宿舍に遊びに來たエノケン等を大歡待してゐるところを武智舍監に發見され散々お目玉を頂戴する仕末を演じたりした。さて卒業試驗も終り、答案に自信のなかつたエノケンはてつきり落第と悲嘆にくれてゐるところへ、二村、如月が同情して先生のところへ運動に出かけてみると、意外にも二人の方が落第でエノケンは見事合格してゐた、卒業をしたエノケンは親爺が社長をしてゐる會社に勤める事になつたが、入社たちまち同僚たちを俠氣で救つてやる事件の數々ですつかり人氣者になつてしまつたが會社が退けると彼にも喜びがあつた、といふのは、學生時代からの友達で同じ卒業したリラ子を花束を持つて訪問することだつた。が、そのリラ子はかねて婚約の伯爵と樂しく去つてしまつたので彼は失戀の苦しみを味はなければならなかつた、エノケンの父や姉は可哀そうな彼のためにリラ子にまさる美しいマチ子を探し出してくれた美しい新妻を迎へて樂しい新家庭の幾日かゞ流れ去つて、ある日エノケンはリラ子のことで失言し夫婦喧嘩をした、その憂さ晴らしに街に出たエノケンは矢鱈に喧嘩がしたくなつてあいつこいつと當つたが誰一人相手にしてくれなかつたが、遂にその相手が見つかつた。とあるキャバレエに暴れ込んだ暴力團の一味だ…。

# 第二新撰組

松竹下加茂作品、新撰組隊長近藤勇の郷里、武藏玉川在の若者達は、京洛で盛名を馳せてゐる新撰組に憧憬れて農具を竹刀にかへて身の程を忘れた劍道修業に寧日なき有樣―つまり「新撰組熱」といふ奴にとらはれてゐたが、結局近藤勇あたりに叱られて身の程を知るに致ると云ふ―どうやらその邊にざらに見受ける連中の心理を描いてみたものらしい、原作が井上金太郎といふ所から押してみても一應そこら邊の野心が窺はれるといふもの、主演者は大内弘と光川京子、監督は笠井輝二（長春座上映中）

# 東和商事 J・O日本漫畫配給

東和商事では歐洲映畫の他に日本漫畫製作所の「お猿三吉防空戰」「お猿三吉突擊隊」「おさよと三吉」等の短編漫畫を配給して好評大いに利用されたが、今後更にJ・Oスタヂオと提携して同社作品漫畫を配給することになつた目下配給中のものは左の二本である

「ポンポコ武勇傳」
「飛入忠臣藏」

## 雜音

常設館で使用する間奏樂用レコードや、伴奏用のレコードはどういふ方法で撰擇してゐるのか知らないが、も少し氣の利いたことをやつて欲しいものである▲プログラムにはちやんと書き込んであるが蓄音機店との約束で仕方なしに鳴らすやうな鳴らし方ならやめた方がいゝ、決して宣傳にならないだけでなく、きかせられる方でも煩はしいことである▲伴奏用レコードにしたつて一人づつ人がかゝりきつてゐるのだらうが、どんな映畫が寫つてゐても一律なものでほつたらかしてゐるのは良くない、日本もののサウンド版やトーキーに入つてゐる伴奏だつて大したものは少ないのであるが、だからと言つて無聲ものの伴奏を等閑にしておいていゝ理由はなり立たない、寧ろ無聲ものにこそ意を得た伴奏效果の境地を開拓すべきである、一體にもつと高尙なものが欲しい

## 今日の銀幕街

△長春座―ワーナー・バクスター、マーナ・ロイの「その夜の眞心」大内弘、光川京子の「第二新撰組」、鈴木傳明の「藝術の乾杯」

△帝都キネマ―ケーリー・グラント、マーナ・ロイの「盲目の飛行士」、寛壽郎の「月形半平太」、新興記錄映畫「赤道を越えて」

△新京キネマ―河原崎長十郎の「清水次郎長」、中村英雄の「小年靴屋」、エノケンの「醉虎傳」

## 居住消息

▲粟野俊一氏（岐阜縣）奉天から中央通り四十一番地瓣谷ビルへ
▲田中福市氏（大分縣）大連から祝町二丁目生野ビルへ
▲矢野政雄氏（大分縣）桔梗町二丁目へ
▲高橋保治氏（愛知縣）大連から羽衣町一丁目十二番地へ
▲上野一氏（熊本縣）祝町二丁目十一番地へ

## 轉居

▲相馬癸入郎氏長慶路から芙蓉町一丁目二番地へ
▲宇山良之助氏老松町から建和胡同二百二號へ
▲田中册氏綿ビルから興安大路五百三十二號石橋ビルへ

## 出生

▲柴田信次氏（大和通り四十六番地）次女鬪子さん十七日出生
▲安藤岩喜氏（朝日通り三十九番地ノ二）三男信一さん十七日出生
▲玉井繁氏（朝日通り三十九番地）男靖浩さん十二日出生

## 死亡

▲渡邊若右衛門氏（花園町三丁目五番地四十四號ノ四）妻シマさん二十三日午前零時死亡
▲相川福市氏（祝町二丁目二十一番地）三女幸江さん二十二日午前十一時死亡

日曜 八朔 癸酉 先負 除 房宿　八月二十五日 舊七月二十六日（？）

●一白の人　積極的に進出を試むべし希望大に通達の日　乙と丙と戌が吉
●二黒の人　情誼に縛られて思ふ事の遂げ得ざる日なり　丙と午と壬が吉
●三碧の人　氣を靜めて妄りに手を染めざるが安全とす　乙と壬と癸が吉
●四綠の人　氣後れを生ずる事あれど信念に向ひて進め　甲と乙と癸が吉
●五黄の人　障碍に妨げられ又他の言を過信して失敗す　午と辛と癸が吉
●六白の人　寶の山に入りながら手に入れがたきが如し　丙と辛と癸が吉
●七赤の人　證書署付け等に依りて迷惑を受くる事あり　丁と庚と壬が吉
●八白の人　物事志と反して失敗の回復容易ならざる日　丙と辛と丑が吉
●九紫の人　發達を見れども新計畫は見合はすによろし　甲と丙と癸が吉

# 第三次關稅改正案
## 輕減と撤廢要望
### 當業者が懇談會開催

滿洲國では昨年十一月の第二次關稅改正に際し、同稅は暫定的なもので一二ヶ年中に第三次改正を行ふ旨を聲明しその後着々準備を進めて居り早ければ本年中に改正の運びとなるものと見られ特に第三次改正に就ては財政部が中心となつて業者との懇談會を開く等の方法で業者の意見を徵してゐたがこの程業者側の意見が決定したので稅關當局へ答申したそれに依ると業者側の意向は大体左の如くである

▲輸出稅＝左の農產物及び加工品は輸出奨勵のため輸出稅を撤廢されたし
黑大豆、白大豆、黃大豆、靑豆、綠豆、小豆、えん豆、そば、穀物、高粱、黍もろこし、粟、籾子實精、小麥豆油、比麻子、大麻子、蘇子、胡麻、種子、酒精

▲輸入稅＝現行法は高率に失し國民生活を壓迫するが關稅收入を重大な國產收入としてゐる滿洲國としては止むを得ぬとするも左の諸品の輸入稅引下げは焦眉の急と認められる故左の如く改正されたい
綿織物一〇—一五％加工綿布一五—二〇％人絹糸一五—一七、五％人絹織物一七、五—二〇％ブランケット二一、五％ブランケット地一〇％毛及毛織物毛糸一五％ブラッシュビロードその他パイル織物一五—二〇％針鋲及螺旋釘一〇％亞鉛引鐵線五％鐵又は鋼板一〇％琺瑯鐵器一〇％化粧品石鹼二〇％鐵板（平浪板共）一組に付二圓七十錢

▲麥粉及び酒精は國內產業保護のため輸入稅を左の如く改正されたい
麥粉一擔に付三圓酒精一英ガロンに付二圓
而して麥粉の昨年中輸入高は八百六十四萬余擔で輸入稅を二圓引上げ三圓にする事に依つて一千七百余萬圓の關稅收入となり前記各輸入稅引下げを補塡し外粉の輸入は減少するが國內粉の增產による統稅收入の增加は輸出稅撤廢に依る減收と相殺されるといふのである

## 滿洲國鹽急增
### 五百萬擔突破か

滿洲國鹽の康德二年度生鹽高豫想は近く財政部鹽務科より發表される事となつたが、本年度の近年にない減產に比し晴らしい增產を豫想され復縣のみで二百七十萬ピクル、營鹽を合すれば優に五百萬ピクルと豫想されるので明年度の日本向工業鹽の輸出は本年度の百萬ピクルを遙に凌駕し即ち百六七十萬ピクルは可能とされてゐる、尙鹽務科では鹽質の向上を徹底的に計るため本年度より同一鹽田內に於て銷鹽價格を質別に定めて決定する事となつた

## 滿洲國最初の
## 濱江省での
## 立毛品評會

曩に行はれた濱江省實業廳管下海倫、綏化、呼蘭、蘭西、雙城各縣に於ける第一回立毛品評會の審査の結果入賞者の決定を見たが各縣共出品面積は大豆小麥各七十餉に達し百餉にして其入賞者數について各縣當局の方針に依る三十名乃至五十名となつてゐるが審査員側たる實業廳當局の審査概評は左の如くである、滿洲に於ての立毛品評會は南滿では滿鐵が行つた事があるが滿洲國としては最初であつたに拘らず昨年の海倫縣農產物品評會により農民も理解したものゝ如く出品面積も廣く耕作法に於ても徐々に改良の傾向が見えてゐる、縣當局も非常に熱心に指導してゐるからこの品評會の目的たる農事改良優良品種の普及並びに奨勵と勸農精神の涵養に就いては相當の效果があるものと思ふ尚此の審査結果品質の向上生產量の增加となつて現はれるとしても更に進んで採種圃、育成法病虫害の驅除法其他技術上の施設等も考慮され、又此等農產物の國際的商品たる點より品質檢査制度、農業倉庫穀價の維持、運賃の低減を圖るべき施設に依つて積極的活動に入る時期であると見てゐる模樣である

# 重要產業法に對し
# 關東州は適用外
## ＝大連商議所より通告＝

【大連國通】大連商工會議所では廿二日午後三時半より役員會を開催
一、北支經濟工作積極化要望の件
一、同業組合法制定要望の件
一、關東州商工會議所令制定要望の件
等を審議可決したが右と共に來る八月を以て實施期間の終了をみる內地重要產業統制法に對する日本商工會議所の修正意見中その適用區域に關する件をも併せ審議し結局左の如き決議を見た、即ち
日本內地に於ける重要產業統制法は來る八月末を以て期間の終了を見るので日本商工會議所では本法の存續廢止及び同法の存續を見る場合に於ける修正意見を審議し右修正意見中同法の適用區域を關東州にまで及ぼすべきか否かに關し過般大連商工會議所宛て問合せがあつたので大連商工會議所では右に對し關東州は朝鮮、臺灣、樺太等と異りその經濟圈の實質はより滿洲國と緊密なる關係にありとする建前より結局同法の適用は日本內地及び朝鮮、臺灣、樺太に限定し關東州はこれを除外するを妥當なりとする意見に一致を見右の如く回答を發したものである

## 錦縣棉花栽培
### 十ケ年計畫內容

【奉天國通】錦縣來電によれば、錦縣々公署に於ては棉花の增產をはかる見地より今回全縣下九區の棉花栽培十ヶ年計畫を樹て明年度より之が實行に着手することとなつたがその第一次計畫たる康德三年度棉花作付面積は

第一區　九、〇〇〇畝
第二區　三、五〇〇
第三區　三、五〇〇
第四區　三、七〇〇
第五區　五、〇〇〇
第六區　二、八〇〇
第七區　三、〇〇〇
第八區　二、五〇〇
第九區　八、〇〇〇

であつて十ヶ年後の擴充計畫面積は

第一區　八〇、〇〇〇畝
第二區　四〇、〇〇〇
第三區　四〇、〇〇〇
第四區　五〇、〇〇〇
第五區　三〇、〇〇〇
第六區　二五、〇〇〇
第七區　二五、〇〇〇
第八區　[illegible]
第九區　一〇〇、〇〇〇

となつて居りその成果は非常に期待されてゐる

# 滿洲國に集る
# 砂金事業期待
## 松岡新總裁の就任で

北滿の砂金事業は松岡滿鐵總裁の就任に依り色めき立ち、ゴールドドレッヂャー製作界に多大の期待が向けられてゐる、同機メーカーの觀測に依れば機械掘でなら一ヶ年に六千余萬圓の採金は可能と見られてゐる、何分北滿の砂金事業は漠河對岸附近で過去十五年間にロシアがゴールドドレッヂャーで三十億圓を採金北滿では民國が以前一ヶ年間に三千萬圓を手掘で採取したる實績があり、砂金の權威者である露人アネルト氏の報告書に依れば北滿に數十億の埋藏量ありと言はれる、斯る寶庫も滿洲には手掘で機械力がなかつたことや、治安が維持されず投資者が無かつたため放置されてゐたが、滿洲國の出現により統制され我が國の砂金事業の發達に依つて愈々開發に着手された殊に北滿金鑛會社の裏面の生みの親は滿鐵松岡新總裁であり且つ同社の小日山社長が副總裁に擬せられる等、北滿の砂金事業は非常に有望で砂金船メーカーの多大の注目が惹かれてゐる

## 製材業者の
### 合同氣運進展

【安東國通】全滿製材業者の合同統制問題は事變以來當業者間に愼重研究が行はれてゐたが數多の困難な事情に阻まれ今日まで其實現を見るに至らなかつた所最近滿洲國政府は治安警備關係からして森林伐採に制限を加へる事となりこれに端を發して製材業者の地方的合同統制問題が急速に進展するに至つた、即ち吉林ハルビン兩市の當業者は廿二日總會を開き本問題に關し協議し安東でも木材商組合理事長伊藤幹三氏が新京より歸來後組合としての態度を決定すべく合同基礎案の作成につき協議を進めてゐる、而して議されつゝある合同草案によれば、投資額五百萬圓、固定資本二百萬圓を有する十九工場を買收し株式組織の一大製材會社を設立し伐採制限に伴ふ製材能力の漸減を圖るものであるがこれに基いて行はれる林業統制により安東の木材業者の受ける影響は相當大なるものがあると豫想される

# 特產物の動向
## 市場頗る閑散に陷る
### 現狀態を當分續けるか

本特產年度もいよいよ最終端境期に這入つたが現物は在貨賣物薄と銀安を好感して大連當市とも强調を呈してゐるが、これに反して先物は增收見越し歐洲不安思惑等の惡材料を織り込んで現物につられながらも大勢はヂリ安氣配で兩者の開きは益々擴大の勢を示し、廿日の前場當限高値八十五錢丁度に對し先物安値は七十三錢七十五と將に十錢以上の値開きを生じ、いよいよ現物高の先物安といふ最端境期獨特の相場現象を呈するに至つたが、之に反して小麥は製粉筋の原料手當の活況に加へて大手邦商連の輸出手當が引續き行はれてゐるため、大豆相場とは全く趣を異にして、同じく大增收見越しにも拘らず現物、先物ともに著しく强調を呈し廿日前場の如きは定期高値、當限一三〇錢五〇先限一三三錢〇〇と現物安と先物高を呈してゐる點、新穀期に於ける兩者の相場動向を暗示する一標示として各方面より注目されてゐる、なほ市場は大豆小麥共に極度に賣物薄で現物、定期ともに頗る閑散を極めておりこの狀態は當分續くものとみられてゐる

## 安東市場株式
## 會社成立す

【安東國通】安東市場株式會社の創立總會は二十二日午後一時四十分から公會堂で開催され、島地方事務所長、加藤勸業係長他株主二十六名出席し島所長議長席に着き創立に關する經緯を報告し定款を決定、取締役監査役を決定、創立總會を終了した、役員は
取締役　島一郎、山縣寅吉、大津峻、瀨口藤太郎、松田源次、富田租
監査役　中川憲吉

## 產金買上價格

財政部は產金買上法に基く產金買上價格を一瓦に付國幣三圓五角と決定した

## 新京滿人商號考
### （四）織布業の巻

これは輸入綿糸を原料としてのささやかな織布業の一群である、大体が副業的家內工業に屬したもので、實は大正四年頃の日貨排斥、國產品運動にだいぶん刺戟されたものなのである、その運動の熱が冷めるとゝもに、日本品は又輸入が增加し、財界が好況になると職人は外に轉職するといふ狀態だつた、名稱を列記しよう

△協力　△福和厚　△福民　△裕萃　△德利　△源興成　△自强　△裕新　△得發　△大治　△慶昌源　△復興長　△同信　△孫守成　△王常機房　△宗春林　△劉遠榮　△劉學山　△李年榮　△天增福　△金華工廠　△福盛　△裕盛

×

漢字の數が幾らあるか知らないが、こう見て來ると大抵屋號に用ひられる文字は決まりきつたやうな感じがする、何としてもめでたいやうな、慾深そうな文字を選んではあるもので「德利」などは日本人には變だが、いやこれはむしろ日本語の方こそ研究に値ひする題目だらうと思はれる、「福民」「大治」などはまああつさりしてゐていいと思ふ「自强」「得發」「福盛」などもよろしい「孫守成」「宗春林」それに劉の字のついたのなどは個人名をそのまま持つて來たものであらう。

×

實は筆者、ここまで書いて一寸出張といふことになつたのでこのあとは來月五日頃から又[illegible]することにします、右おことはり。

## 土建ニュース

決定工事

▲小西邊門太濤宮間復線敷設工事　●奉天電車廠
落札　五千百八十八圓五十一四錢　同興公司
公益公司、振泰公司、星野組、碇山組、辻組

▲營口蛇籠及水制工事　●營口港政局
落札　五萬五百圓　高岡組
大林組、福井高梨組、川畑組、間組、鹿島組、大倉土木

▲奉天造幣廠職工宿舍並に獨身宿舍新築工事　●滿洲中央銀行
落札　五萬六千圓　戶田組
高岡組、福井高梨組、清水組、大倉土木、錢高組

▲錦縣西關小凌河護岸蛇籠水制工事　●錦州省公署
落札　六千三百八十三圓　菊地組

▲奉吉線撫順城站貨物野積場柵桓修繕工事　●奉天鐵路局
單獨　五百十圓　復元公司

▲奉山線山海關獨身局宅新築工事
落札　九千四百五十圓　日滿土木

▲河北驛構內建物撤去並に賣却工事
單獨　八十五圓　柿崎組

▲奉吉線章營子間六八K七四三M橋梁改築工事
落札　二千九百九十圓　復元公司

▲新民站本家側乘降場便所新築工事
落札　百九十圓　瀋陽公司

▲興城ホテル床板一部修繕工事
單獨　八十八圓　鈴木組

▲瀋陽檢車分段機器新設工事
落札　一千九百八十圓　川佐組

▲章武縣電氣分段事務所新築工事
落札　六千八百五十圓　復元公司

▲奉天鐵路局用度車務所改築工事
單獨　一百九十圓　福井高梨

▲葉柏壽車家增築其他工事
單獨　五千二百圓　大津組

▲御花園分工廠煖房裝置增築工事
落札　四千三百八十圓　今井商會

▲河北扶輪小學校便所新築工事
單獨　一千卅八圓八十八錢　柿崎組

▲錦縣電話交換所新築工事
落札　二萬九百七十四圓　鹿島組

豫告工事　●國都建設局

▲東朝陽路附近車道碎石舖裝工事
▲新發屯北胡同附近下水工事　入札期日　八月二十六日十時
▲樹薰所附近下水工事　豫算超過に付二十四日再入札

長春酒

普通の雜誌にも經濟關係の記事を澤山載せるやうになつた、新聞の政治面にも隨分と經濟關係事項が出てゐるところで、滿洲の一般雜誌はと見るとこの方面に對しての努力が未だ足りないやうだ▲經濟時評といつたものはこの建設途上にある滿洲國に於いてぜひ欲しいものだ、いつかそれを書いてやつたことがあつたがあれは續けて欲しいのである、經濟を離れての問題も社會問題もありはしない▲尤も、例の景氣占ひといつたやうな神秘的なものは御免を蒙りたい、又欲しいものは滿洲財界の人的構成、その動きなどを解說したものがある、結局經濟事項も相結んで生れ育つのだから微細なセンスはこの方へ向けられねばならぬのだと信ずる▲「天高く地厚うして人と金」



## 商況欄
### （八月廿四日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊　二九片一六分七
同　先限　二九片八分三
紐育銀塊　六五仙四分三
孟買銀塊　六六留比二六分三
米英爲替　四弗八六仙四分三
米日爲替　二九弗三一分三
米支爲替　三七弗三五仙
スチール　四五弗八分三
アナゴンダ　二〇弗〇〇
英日爲替　一志二片六二分三
英支爲替　一志六片八分一
英米爲替　四弗七七仙八分五
印日爲替　七八留比二分一

▲米棉
現物　一一仙一〇
九月限　一〇仙六七
十二月限　一〇仙五六
一月限　一〇仙六〇
三月限　一〇仙五九
五月限　一〇仙五八
七月限　一〇仙五七

▲印棉
ブローチ　二一四留比
オームラ　一七四留比
ベンゴール　一二九留比

▲市俄古小麥
九月限　八九仙八分七
十二月限　九一仙四分三
一月限　九三仙八分三

▲カルカッタ麻袋
靑筋　二六留比四分三
鐵筋　二四留比一六分一

金銀市況
●上海標金　[illegible]

▲大連爲替　[illegible]
▲上海向　[illegible]
▲紐育向　[illegible]
▲阪神日米爲替　[illegible]
▲阪神日英爲替　[illegible]

株式相場
▲大阪株式（短期）　[illegible]
▲大連株式（短期）　[illegible]

●大連金鈔票　[illegible]
●大連鈔票銀大洋　[illegible]
●奉天國幣金票　[illegible]
●奉天國幣鈔票　[illegible]
●哈爾濱國幣金票　[illegible]
●安東國幣金票　[illegible]

商品市況
▲大阪棉糸　[illegible]
▲大阪棉花　[illegible]
▲大阪人絹　[illegible]
▲神戶豆粕　[illegible]

特產市況
●大連大豆　[illegible]
豆粕　[illegible]
豆油　[illegible]
高粱　[illegible]
●哈爾濱大豆　[illegible]
小麥　[illegible]

新京取引所市況
●大豆（八月二十四日前場）　[illegible]
●鈔票對金票　[illegible]
●國幣對鈔票　[illegible]

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

# 領水を犯し良民拉致
# ソ聯警備船の暴擧
## 再三に亘る不法行爲頻發に
## 根本的是正期待さる

又復ソ聯警備船の不法越境良民拉致事件が勃發した、即ち愛琿よりの情報によれば八月二十日午前十一時頃倫山(愛琿と黒河の中間)の稍上流中の島に於て砂金採收中の満人苦力三名は兵約十名を乗せたソ聯警備船のため拉致されたが次で翌二十一日午前七時頃を同地點南側に於て流木採取中の満人二名同じくソ聯警備船に拉致された、右二事件は何れも満洲國領水内の出來事であつてソ聯の國境線を無視しての傍若無人の暴擧の頻發は満洲國に對する挑戰的底意の現れとも觀られ看過し得られざるものあり満洲國政府は近く之等満ソ關係を破壞するが如きソ聯の不法行爲に對し根本的是正の措置を講ずべく期待されてゐる

# 満洲事件費大藏省回附
# 總額一億八千萬圓

【東京國通】明年度陸軍豫算中の満洲事件費は二十四日午前十時陸軍省より大藏省に回附されたが總額約一億八千萬圓で満洲事件費五ヶ年計畫の初年度である、その內容の主なるものは
一、現在の在満部隊及び諸施設の維持並に既定計畫實行に要する經費
一、在満兵力の充實並にこれが維持費
一、兵備改善五ヶ年計畫に伴ふ關東軍關係經費
一、資材整備費五ヶ年計畫に伴ふ關東軍經費
一、關東軍の別種新施設に要する經費
等である

# 汪精衛氏の招電
## 王克敏氏急遽南下す

【北平廿四日發國通】北平政務整理委員長代理王克敏氏は行政院長汪兆銘氏よりの招電に接し二十四日午前六時北平驛發津浦線により急遽南京に向つた、汪兆銘氏が二十二日の常務會議の決議により彪大なる權限を附與され又蔣介石氏の全幅的支持のもとに復歸した今日、當面の問題たる北支の責任者王克敏氏を招致することは汪兆銘氏が抱懐する對日政策展開の第一着手として注目される、汪兆銘氏より如何なる方策を與へられて歸來するか不明なるも尠くとも王克敏氏の北支に於ける今後の活動は從前とは異なり活潑さを增すことは疑ひなくこれにより北支の明朗化に一大推進が加へられるべく期待されてゐる

## 政整會全體會議
## 無期延期

【北平廿四日發國通】二十九日より開催豫定であつた政整會全体會議は王克敏氏の南下により無期延期となつた、王氏は要件濟み次第直ちに歸任する事となつてゐるので右會議開催は來月早々と觀られる

# 何應欽氏立場好轉
# 北平歸任を決意

【北平廿四日發國通】何應欽氏は北平軍事分會よりの數次の懇請にも拘らず歸任を遲せてゐたが今回の蔣介石氏の南下により中央部の對日態度統一の決定を見、汪兆銘氏と共に立場も有利となつたので近く北支に歸任する事に決定或は廿四日南下した王克敏氏と同道、來月早々歸任するに非ずやと傳へられてゐる、何應欽氏は軍事分會內部の整理について既に蔣介石氏の內意を得たと言はれて居り、同氏歸任後の軍事分會は從前に比し量より質への肅正を見るものと大いに期待されてゐる

# 有吉、蔣大使會見
## 日支問題を中心に協議

【上海廿四日發國通】有吉大使と蔣作賓駐日大使の會見は日支問題を中心に豫定の如く二十四日午前十時から有吉大使官邸に於て行はれ同十一時五分會見を終つた、會見後有吉大使は左の如く語る
別に大した話もなく儀禮的な暇乞ひに來られた程度のものだつた、然し支那中央の要人は飽くまで日支兩國は親善を續けて行かねばならぬと一致した意見を有し蔣介石氏も此意見を全幅的に支持する旨蔣大使に言明したそうだ、蔣大使が日支經濟提携の具體案を携行する等の話は本日會見では少しも出なかつた、

# 各省農務科長會議
## 新年度農村對策協議

實業部に於ては明年度豫算編成期を控へて新年度の農村對策を決するため二十六日二十七日の兩日實業部に於て各國各省の農務科長會議を開催、新年度新規計畫を中心に農村技士の派遣模範農村の設置苗圃の配付、家畜病豫防等各種の方策が議せられる筈である

# 明年度集團伐採量
## 建築材料枕木等四百七十萬石

近く實施される木材の集團伐採に際して明年度の伐採數量は四百七十萬石で大體左の如く割當てられる事となつてゐる、尚之が內譯は建築材料三百三、四十萬石、枕木百萬石、枕木電柱その他三、四十萬石である

鴨綠江筋一圓 百萬石
北満東部沿線 六十萬石
チチハル以西(蒙政部管內) 三十萬石
集團伐採 二百六十萬石
其他 二十萬石

## 陸軍省辭令

【東京國通】陸軍省辭令廿四日附を以て左の如く發表さる
陸軍省兵務課長 砲兵大佐 山田長三郎
陸軍兵器本廠附被仰付
陸軍步兵學校教導隊長 步兵大佐 村上啓作
補陸軍省兵務課長

# 今年は豫想外の豐作
# 北満麥粉の躍進
## 日本へも廿數車輸出さる

昨年十一月輸入麥粉の關稅徵收開始以來在満製粉業者は多大の恩惠を受け然も本年度の北満小麥收穫は豫想外の豐作で品質も亦優良、加ふるに國幣安の影響を受けハルビン粉は南満四平街迄採算引合ふ好狀態で久しく外國製粉の壓迫下にあつた當地來粉界も漸次北満粉の地盤と化しつゝある又日本の通商擁護法の發動によつてカナダ小麥に報復的關稅を課するに至つた爲め北満小麥の日本輸出を見るに至り既に二十數車に達してゐるが今後京大、洮大兩線の開通と共に當地製粉界の前途も頗る明朗を加へるものと期待されて居る

## 蘭印の從業員入國制限令は
## 歐洲人失業防止が目的

【バタビヤ廿三日發國通】蘭印東印度政府は曩に外國人入國割當制限令を實施し更に又二十三日外國人從業員入國制限令を發布し二十四日より實施することゝなつたが、同法令の內容は歐洲の外國人及び歐洲人待遇、黑人即ち日本、イラン(ペルシヤ)、トルコ人等が蘭印居住の雇傭主に傭はれる際には必ず司法省長官の許可を要することゝし斯くて日本などよりの新渡航者は制限されるものである、從つて、單獨で事業を經營しようとする者の外就職目的とする者の單獨渡航は出來ないことゝなつた、右に關し政府は此の制限の目的は蘭印に於ける歐洲人の失業防止を目的とするものであると述べてゐる、なほ支那人は歐洲人待遇でないので該法令の適用を受けない

# 技術的準備進む
# 日支無電聯絡交涉
## 荒川電話管理局長南京へ

【上海二十四日發國通】日支間無線電話は兩國間に於てそれぞれ技術的準備を進めてゐるが支那側では專ら交通部國際無線電話局がこれに當り英國スタンダード會社より購入の機械にて通日英人技師の手により上海郊外眞如無電臺から東京、神戸、大阪と通話テストが試みられてゐる、これにつき遞信省荒川電話管理局長は右技術的試驗と並行し通話手續き折衝の爲近く南京に赴き交通部電政司と直接協議することゝなつた

## 八月以降
## 日銀賣却公債

【東京國通】月初以來の日銀賣却公債は六千八百萬圓に達し依然順調をたどつてゐる

# 東亞の空に戰雲犇動
# 英內閣國防委員會
# 廿三日緊急會議

【ロンドン廿三日發國通】內閣國防委員會は廿三日午前マック首相司會の下に緊急會議を開會、ボーア外相、チエンバレン藏相、ハリファックス陸相、モンセル海相等出席の下に伊エ兩國間に戰端が開始される場合の結果に就き愼重協議を遂げたが陸海空三軍當局からは地中海並に東アフリカ殖民地に於ける英伊兩國軍現有勢力に關し精細な報告が閣議に提示されてゐるが國防委員會は右報告檢討の結果經濟封鎖斷行への豫備工作として次の方針を決定したと謂はれる
一、英帝國全般に亘り陸軍兵力の再強化、再分布を促進する、殊にエチオピア帝國隣接領域に於ける防備強化を圖る
一、地中海、スエズ運河地帶等の樞要地點に於ける防備を強化する

# 海上保險界冷靜
## ―日本側近く對策協議―

【東京廿四日發國通】伊太利エチオピア開戰氣構へ濃厚から海運界、海上保險界は事態の推移に注視すると共に早くも開戰の際の影響對策に就き夫々研究してゐるが目下の情勢ではさして、目立つた影響は認められず、一般に大体冷靜な態度を持してゐる、即ち最も關係深きロンドン海上保險界に於ては、ロイド保險會社が伊エ兩國向け貨物船舶に對し戰時保險並みに高率保險料を取りつゝあつた所、最近では開戰必至と見てそれすら拒否してゐるが、他の有力會社筋は多少料金率を引上げた程度で一樣に事態を靜觀してゐる、隨つて日本當業者としても各社共多少料金率引上げを行つてゐる外格別積極對策に出づるまでに至らず專ら成行を注視してゐる譯であるが形勢如何によつては銀行筋の態度に應じて戰時保險として一樣に料金率の相當引上げを行ふ可く右に就き近く海上保險協會に會合對策協議を行ふ筈である

# 地中海に海軍力集結
# 伊の行動牽制

【ロンドン廿三日發國通】內閣國防委員會は國防强化の方針を決定すると同時に海軍省に對し急遽地中海に優勢海軍力を集結するやう指令したと傳へられる、海軍省當局では右指令に基きエリザベス號以下三萬一千噸級戰艦五隻、巡洋艦三隻、其他補助艦艇數隻に出動準備を命じたと傳へられるが右報道が事實とすれば之等艦艇は近くマルタ島根據地に集結、堂々地中海を威壓して遙かにイタリー軍の行動を牽制する事とならう、同時に空軍司令部に對しても紛爭勃發の際直ちに現場に急航するやう指令が出たと謂はれる

## 大藏農林懇談會
## 廿八日開催

【東京國通】陸海軍兩省と懇談會を開催し國防と財政の調和の上に好成績を得た大藏省は更に廿八日農林省と懇談會を開催する事となつたが、國防費に次ぎ豫算編成上難關と觀られてゐる農林施設の經費を如何にして賄ひ得るかその會談成果は各方面より期待されてゐる

# 綿業各團體統制で
# 非常時打開へ

【大阪國通】既報の如く紡績聯合會提唱による綿業中央協議會は二十三日成立したが、提案者たる津田鐘紡社長は左の如く語つた
現在のところ紡績、綿工聯、輸出綿糸布同業會の三團體だが、更に他の團體の參加も希望してゐる、綿業會の指導精神を確立して各團體の意思疎通を圖り綿業非常時を打開したいと思つてゐる

## 梅津前司令官
## 昨日門司寄港

【門司國通】北支駐屯軍司令官として在任一年半多難の北支治安工作に一大礎石を殘した新任第二師團長梅津中將は廿四日朝天津より門司寄港の商船長江丸で家族同伴歸朝し午後一時出帆の同船で東上したが同中將は左の如く語つた
現在の北支の對日態度は明朗に好轉しつゝあるも排日の根は深く一朝一夕にはこれを根絕することは困難である、最近の灤州事件もその一であると思はれる從つてその禍根を絕つには尚今後日支兩國當事者の努力が必要である、今後北支に殘る重要問題即ち經濟開發に就てはこれは吾々の專門外の事であるから判らないが北支一般民衆の福利增進と云ふ支那自身の重大問題であるから彼等が大に力瘤を入れてやるべきである

## 新見憲兵大佐
## 負傷快方へ

【東京國通】永田中將刺殺犯人相澤中佐は目下東京衛戍刑務所に收容され岡田豫審官の手により豫審中であるが、事件當時局長室に居合せ不幸負傷した新見憲兵大佐は第一衛戍病院に於て加療中のところ廿三日より面會謝絕を解かれたので現場證人として臨時訊問が近く行はれる事となつた



# 米棉融資前途
## 綿糸布相場を低落させた
## 輸出沈滯を打開せん

【東京國通】紡績會社は米棉融資の成行を案じて近來全く原棉買付を見送りの狀態であつたが、新棉手持は精々二十萬俵位で値下り損は案外輕微で寧ろ綿糸布相場の低落による輸出沈滯の打開が期待されるに至つた

## 長岡廳長歸京

吉林巡視中の長岡總務廳長は廿四日午前十一時卅二分着にて歸京した

## 特産中央會
## 第三回理事會

満洲特産中央會第三回理事會は既報の如く廿三日實業部に於て開催されたが顧問及び評議員改選中新任者左の如し
△顧問
關東軍參謀部第三課長 永津佐比重
△評議員
朝鮮銀行大連支店長 河口 [illegible]
大連商工會議所會頭 築島信司

## 佐藤大佐から
## 市民へ謝禮狀

關東軍飛行第〇〇隊長から飛行技術學校に榮轉した佐藤大佐から廿三日武田地方事務所宛謝禮狀あり、市民各位にもよろしくとあつた

## 偶語

遊戲中野犬に咬まれ、二ケ月目に恐水病にかゝつた子供がある▼恐水病といへば醫學上未だその正体が突止められず、全くの不治の病となれる厄介な病氣だ▼原因はもちろん狂犬に咬まれたが爲にあるので、受難者に取つては全くの咬まれ損といふ諦めのつかぬ此上ない不幸である、▼過日の本欄にも述べて置いたが、近頃犬から受ける咬傷の被害が殆ど毎日のやうにつゞいてゐる、狂犬でないまでも實に迷惑千萬な話で、これでは安心して道も歩けない▼野犬の撲滅はもちろん、飼犬と雖もこの際嚴重取締の必要を吾等は當局に對し切に要望するものだ▼加藤牧場の立退きもどうやら目鼻がついた樣子、どうせ立退かなければならない運命にあるのなら、潔く立退くが賢明である▼余りに慾に眼がくれてグヅグヅしてゐると飛んだ目にあふことゝ世間に稀らしくない、といつて滿鐵として本人の立場はむろん考へてやらなくちやならん▼地方事務所がつい最近まで何んの正式通告もせず鳥が飛立つやうに急にあせり出したのは動機はいづれにあるにしろ余り香ばしいお手際とはいへぬ

## 人事往來

▲橋本圭三郎氏(貴族院議員)廿三日午後來京國都ホテル
▲池內重夫氏(橋本氏秘書日本石油會社員)同
▲廼芳氏(満洲石油會社副理事)同
▲佐藤健之氏(満洲石油會社員)同
▲內田三郎氏(陸軍少將)同
▲由利元吉氏(同)同
▲利行睦生氏(西安坑監事)同
▲蓮尾誌造氏(満洲國官吏)同
▲君島八郎氏(九大名譽教授)二十三日午後大連へ
▲山本駒太郎氏(西安炭坑會社員)同奉天へ
▲內田勝司氏(東亞興業株式會社取締役)同東京へ
▲藤井利與氏(帝國教育會理事)二十四日午後來京國都ホテル
▲宮谷法含氏(東本願寺満洲回教監督)同歸京
▲前田直造氏(電々會社取締役、營業部長)同來京同、十一時發ハルビンへ

## 航空往來

▲菊地佐一氏(新京土木業)ハルビンから
▲淺賀甚太郎氏(ハルビン)同
▲鈴木與四郎氏(東京)同
▲岡保千太郎氏(コロンビヤレコード會社員)同
▲高橋馨氏(同)同
▲淺沼謙三氏(大連)同
▲安藤勝吉氏(ハルビン自動車商)ハルビンへ
▲神開貞一氏(新京神開組)ハルビンへ
▲近藤壽能氏(大連車輪製作所)同
▲樋口茂行氏(國務院總務廳)黑河へ
▲平山一男氏(國務院總務廳秘書科)同
▲金池藤太郎氏(同人事科)同
▲大谷守太郎氏(栃木縣)吉林へ
▲井上英吹氏(奉天大每社員)同
▲山田準一氏(同)同
▲堀越喜三氏(栃木縣生絲商)同

## 社說

### ラヂオ國策を樹立せよ
### 國民思想統一と文化建設のため

ラヂオによる國民思想の統一強化運動は最近世界各國で國策として行はれてゐる、ドイツでは宣傳省を設け主としてラヂオによつてナチス文化の建設に邁進しイタリー、フランス、ソ聯邦等諸國において夫々ラヂオ國策を樹立して國民文化の建設に國家的努力を傾注してゐるといふ現狀にある、かゝる傾向は當然電波の超空間性によつて遠く國境を越えて他國民に對する宣傳となり殊に國境の近接せる歐洲諸國では烈しい空中宣傳戰が展開されるといふ狀態が現出された

◇

かゝる狀勢において各國が自國以外の電信局の電波を自國民に聽取せしめざる努力を拂ふことは當然でドイツ等では極端なラヂオ統制を行ひ、ドイツの中央局並に地方局以外の電波は聽取出來ないやうな受信機を製作して從來の受信機を强制的に改革せしめ最近では全國六百萬の受信機を五百萬まで「國民受信機」に改めたと傳へられてゐる、この「國民受信機」は國策會社であるラヂオ受信機製作會社で製作されたもので「バンドの統制」によつてドイツの中央局並に地方局以外の電波は絶對に聽取出來ない樣に作られてゐるのである、イタリー、フランス等[illegible]

聽取者數も激增し本年七月現在の各國の聽取者數はソ聯邦一千五百萬、米國一千五百萬、英國六百萬、ドイツ六百萬で[illegible]滿洲國の聽取者數は一萬五千、而も聽取者の大部分は日本人にして極少數の滿人聽取者[illegible]

滿洲國の放送事業は特殊會社たる電々會社が政府の監督下に實施してゐるが、[illegible]

も要請すべきであるといはなければならない、幸にこの弊害を除くために電々會社では近く懸案の二重放送を實施し對日本人放送と對滿人放送プログラムをつくることゝなつたが、滿洲國のラヂオ國策はこれによつて僅かに前進の一歩を示したに過ぎず、地方聽取者の獲得、受信機購買能力のない一般國民に對する普及問題、豊間送電問題、聽取料の問題等全て國策として愼重考究すべき問題が多い、滿洲國政府、電々當局においてももつと國策的見地に立脚してラヂオ普及のため努力しなくてはなるまい

## ハルハは斷じて「外蒙」に非ず
### 連綿三世紀に亘るこの史實（完）

これに對し時のハルハ政廳は卒直に邊境軍の不法行爲を認め以後再び盜賊的行爲を繰返へさゞる樣嚴戒を誓約した陳謝文を副都督府に提出して解決を見たのであつた

この事實はなほ記憶に新たなるところであるが外蒙の暴擧は些かも停止されざるのみならず、層一層その度を增しハルハ事件前後に於ける日本人旅行者三名の拉致、關東軍測量手の虐殺、瀨尾上尉の拉致等彼等の不法行爲はその都度惡化の一途を辿り强ひて事を構へんとする魂膽とより受取れぬものがあるに至つたのは實に不可解と云はねばならない、當時ハルハ政廳が副督都府に提出した回答には、外蒙古邊境警備兵にして斯く邊境附近に居住せる巴爾虎人士がハルハ河にて牛馬に給水せんとするを拒み給水に來りたる家畜を捕へて之を掠奪するが如きこと、事實なれば信義和親を思ふとき全く不法行爲なり該地に傳へ命じて政府の方針に從はしめんと或程度迄和親の方針をさへ披瀝してゐる

□

相頻發する事件に、巴爾虎、哈爾哈兩族間で協盟の上盜賊行爲裁判員と稱する一種の共同邊境委員會に類した處決機關が一時的に存置される事になつた、即ち民國十五年（西歷一九二八）國境ジンギス・ジヤミン・ホトツク監視所に於て兩族より夫々役人を派して

一、紛爭について共同審議を存すること

一、相互的文書交換の爲ハルハ河の「ダンジヤルン・アラル（アラルとは島の意）」に巴爾虎の監視民を居住せしめて南北に連絡せしめること

を申合せの上贊意を表した文獻があるが、之は明かにハルハ河のダンジヤルン監視所即ちハルハを含むオランガンカ三角地區がホロンバイル領であると云ふ事を裏書きせる重大事實なのである

□

斯く觀じ來れば連綿三世紀に亘る領域紛爭に際しても吾巴爾虎の監視哨は儼として只一度すら移動したる事實なし、ハルハ河を繞る凡ゆる紛爭騷亂は彼ハルハ族の歪曲と侵略に起因せしこと實に明瞭極まるものである

この史實に明かなる諸事實は現時ハルハ民族否外蒙當局者の認識の中に當然再現せられ顧みて猛省さすべきではなからうか、吾コロンバイル官民が移住以來二百年有余現在吾コロンバイル全民族が擧つて「大滿洲帝國」の王道を讚仰謳歌するに至る迄、呼倫、貝爾、哈爾哈、を繫ぐ一線內は終始コロンバイルと呼稱され黑龍江省將軍府管轄下に、副都督が存在し來つたものである、斯く現存せる信憑動かすべからざる幾多文獻古史實より究め來れば世界至る處の地圖上に明記の如く、ハルハ河以北は斷じて滿洲領たることは絶對疑ふべくもない千古不滅の一大事實なのである、本稿を結ぶに際しハルハ事件以來某旗公署を中心に本史實蒐集に奔走せる僚友オー記者の勞に篤く感謝する次第である

トーチカ　◀中傷はとらず▶　住所氏名明記の事

### 學問の意義
菅崎三文

學は『まねぶ』の訛りであり做ひて行ふ意であり。ならふ習ふ眞似る。他に似せて爲す模倣等の義である。問は外（ト）言（イフ）の約であり理を事をたづねる意であり。とぶらふ、おとづる、まみゆみまふ、きくの義である。即ち學問の本義は『問』に重點を置くべきであり、知らざるを問ひて後まねぶといふのである。然しながら近ごろの學校教育を見るとき果してこの『學問』本來の意義に向ひつゝありやといふ疑問である、大學といふ城壁にたてこもりノートとペンによつて教授の言を一字一句もききもらさじとならひ而してまねてゐるのが大學教育ことに精神科學方面の現狀の動向である。こゝに問ふの意義についてのまみゆ、みまふの一義に於て特に注意せよ。ミノベの憲法學說をまねてうのみにして世に出でた人々の中にその社會の上べにはびこれる顯官紳士を想起せしめらるゝ、いづれか戰慄をおぼえんやである、世の教育家にすゝめる一言はこの學問の意義そのものである。

トーチカはロシア語の點の意義、英語のポイント、獨語のプンクトに相當し又漢語の觀點の〃點〃であり、而して又日滿全國民の視線は今やこの一點に向はしめられつゝあるこの意味に於いて『トーチカ』改題の新京日日に絶讚をしまぬと同時にこの『トーチカ』に對し讀者は一齊凝視せよ

## 受難の黑人帝國
## エチオピアと國際關係の全貌（一）
### 皇統三千年の歷史を誇る

皇統三千年の歷史を誇る東阿に於る黑人帝國エチオピアに對するイタリーの擧兵により歐洲政局は空前の危機を全面的にはらんでゐる　アフリカ問題は歐洲政局を支配する問題丈けにその國際關係も極めて複雜多岐である　以下行を追うて黑人帝國エチオピアの歷史を顧み併せて同國をめぐるデリケートな國際關係を檢討することにする

東阿の東北隅に位する山國のエチオピアは最古の文明を代表する埃及に匹敵する程の舊國であつて皇統三千年連綿として絶えない黑人帝國である、面積は三五萬平方哩、我國本土の約四倍、四方は歐洲諸國の領土に圍まれて海岸線がなく五千乃至は八千呎の高原、四圍は殆ど山と砂漠である關係からアフリカの各地が歐洲諸國の餌食となつてゐるに拘らずエ國は地理的天惠によつて今日まで獨立して來てゐる、北部は伊領エリトレア、佛領ソマリーランド、西部は英の埃及スーダン、東部は英伊兩國ソマリーランド、南は英のケニヤ及ウガンダと云ふ地理的關係にあり諸國の勢力均衡が相當複雜であるため外部の侵入も免れて來た、人口は四百萬といひ或は千三百萬ともいはれて區々であるが英國の政治年鑑によると千萬餘が確實な字數であるといふ

言語も頗る複雜であつて普通知られてゐるだけでも七十餘種それに地方語を加へると二百餘種類に及ぶといふ、商用語としてアラビア語が用ひられてゐるがアマラ語は國語となつてゐる

×

首都アヂスアベバは海拔八千呎でメネリツク第二世が一八九六年アドワの戰で一萬五千のイタリー軍を擊滅し凱旋の際建設した新興都會でもつて四圍には著名な高山が連なり難攻不落の要害地となつてゐる、氣候は一般に溫暖である關係から一、二月頃でも百花爛漫、四月頃から十月にかけて雨季である

×

種族は容貌の最も優れたクーチツク族が人口の三分の一を占め被征服者として一般に輕蔑されてゐるガラといふハミチツク系の種族が人口の二分の一を占めてゐる外東南部地方にソマリー人、東北部地方にダナキル族が居住してゐるが此種族は相貌も猛で鐵道沿線地帶に架設されてある電信線などを切斷して婦女の裝飾に使用してゐる程であるといふ、勿論種族も區々であつて歐洲人との混血兒も相當多い、伊のムツソリーニはエ國人に對して「野蠻人」といふ痛罵のピストル惡罵の毒ガスを投げかけてゐるがエ國では英國との條約により表面奴隸は嚴禁されてゐる、併し事實はこれに反して矢張り奴隸狩りは行はれてゐる、クーチツク族および純血なエ國人は卒統醜惡なネグロを輕蔑してゐるので奴隸狩りは遠く英領スーダン、ウガンダ、ケニヤ方面にまで侵入して行はれてゐるといふ、伊太利も英國と同樣に奴隸狩りは人道上の問題としてその非を鳴らしてゐる

×

エチオピアの主なる產業はコーヒーの栽培と牧畜であるエ國人は日本人が茶を飲む樣にコーヒーを飲む、上流家庭以外は砂糖を用ひず鹽を入れて飲むのが普通である

×

そのコーヒーの輸出高も年額一千萬圓、獸皮は九百萬圓であるが、此地に於ける棉花の栽培は將來頗る有望とされてゐる、歐洲人は佛領ソマリーランドのヂブチからアヂスアベバに至る鐵道沿線地帶の農業に着目し佛國人は期限三十ケ年の棉花栽培權を獲得してゐるといふ

×

貿易の九割は佛領ソマリーランドのヂブチ港經由で行はれてゐるがエ國產のコーヒーは佛、米、ノールウエー、イタリー植民地、英國、デンマーク、獸皮は英國、イタリー、ギリシア、ドイツ、アデン、佛國、麝香は佛國、アデン、米國、英國等の旅序で輸出されてゐるコーヒーと獸皮はこの國貿易の二大宗である

×

輸入品の大宗は未晒綿布である、從來米國品の獨占的傾向にあつたものが近年日本品が斷然米國品及びソ聯品を驅逐してその王座を占めてゐる金巾、カーキ綾、カーキ縞綾、綿系、人絹、陶器、硝子、エナメル製品等は日本より、砂糖は近年南洋和蘭植民地より石油は英、米、ソ聯、建築材料は白、獨、英、自働車附屬品は米國、葡萄酒、洋酒類は佛、英、伊、ギリシヤ、石鹸は佛、英、燐寸はスエーデン、ソ聯、香料は佛、獨等の諸國から輸入されてゐるが、就中日本品は點々として破竹の勢を以てインド人の手を經て輸入されてゐる、日エ兩國の貿易關係は將來益々密接盛大となる傾向である、さきに駐伊杉村大使がムツソリーニ首相との會見の際今回のエ伊兩國の紛爭に當り日本はエ國に何等政治的關心を有するものでないと傳へたといふ事が、イタリーの爲に政治的に利用されたと喧傳され物議を釀したが日本は一九三六年一月頃よりエ國に公使館を開設する事になつてゐる

×

その初代公使としてイタリー大使館の張間書記官が任命され同書記官は來る十月頃赴任する事になつてゐるまたエ國からは近く日本に使節を派遣する事になつてゐるが、同國軍官學校の主事ダバ、ヒルー氏は東京に常駐する事になりこれ又近くエ國を出發して日本に向ふ事になつてゐる　かやうにして兩國の關係は漸次敦厚の度を加へやうとしてゐる

×

黑人帝國エチオピアの歷史を見るとこの國の皇室の祖先は紀元前約一千年頃文明の中心地地中海の沿岸に勢力を振つてゐた猶太國王ソロモンと沈魚落雁な美人のエ國女王マゲダとの間に生れた皇子がメネリツク第一世で同一世がまだ十八歲の頃ユダヤ人一萬人を率ゐてエ國の地味肥沃なチグレの高原にその都を定めて國礎とした、そのメネリツクがエ國皇室の祖先とされてゐる

×

更に十九世紀の中葉カッサといふ英雄がアマラ國王ラスアリの女を娶つた後その王位を奪ひチグレ、ゴンヂヤームその他各地を征服して一八五五年皇祖發祥の舊都であるアキサムに於て皇位に即きセオドール皇帝と稱へ後皇孫セハラマリアムを征服してこれを捕へたセオドールの捕虜となつたマリアムは難をショア國に逃れて國王となつた、チグレの英雄で皇位に即いたカッサは英國の支援を受けてゴンヂヤーム、アマラその他地方に割據する群雄を征伐し一八七二年アキサムで即位しジョン皇帝と稱へた、この當時勢力絶大なりしマリアムはジョン皇帝の命令に服しないのでジョン皇帝はマリアムを討伐すべくショア國に侵入して兩者の間に妥協なりジョン皇帝はマリアムのショア國王なる事を認めジョン皇帝はその一子アレア、セラッシをマリアムの女に配しマリアムを皇緒としてセラッシをマリアムの後繼者とする事を約した　セラッシ病死後ジョン皇帝は一八八九年から種族討伐中敵彈の爲にたをれた結果マリアムは同年ショア國の首都エントトにおいて即位式を擧げ、メネリツク第二世となり國內の群雄を統一し今日の帝國としての基礎を築いたものであるといふ、戰亂時代皇室の勢力も變遷窮りなく紀元六世紀頃までは勢力も遠くアラビヤスーダンを支配し埃及を自家藥籠中のものとして一時はローマと對等の條約を締結した事もある、紀元九百五十年より四十年間王統は一時ユダヤ人種ファラシヤ族に中斷されたが、その後約三百年の間はサグエス豪族に支配され一二六〇年舊王統ジョア王の統一するところとなつたが屢々回々教徒に侵略され國勢頗る振はず十六世紀の初頭トルコの猛將モハメット、ラクンに侵入されて國運は危殆に瀕した當時ポルトガルの援助により國勢を挽回したといふ史錄もある、現在嚴存するゴンダール地方に於る極めて雄大な石造城塞、橋梁、寺院、宮殿等は往時ポルトガルの全盛時代その感化を受けて築造したものであるといふ

### 林陸相　松岡滿鐵總裁會見

松岡新滿鐵總裁は赴任に先だち二十日午前十時官邸に林陸相を訪問し、[illegible]次官、今井軍務局長等と協議を重ねた　寫眞右林陸相、左松岡總裁



### 王道學會老子學講義
八月二十五日（日曜）午前九時半より　新京記念公會堂第一集會室に於て
主催　王道學會
後援　新京日日新聞社

### 阿野飛行士に賞狀、獎勵金授與

【大阪國通】着陸の際航空法違反問題を惹起した故國訪問飛行の阿野飛行士に對して遞信當局は長途の難航の後であり、故意に犯したものではないと事情を認め特にこの度は寬大の處置をとることとなり廿三日留保してゐた賞狀並に銀杯を同氏に授與したので帝國飛行協會でも獎勵金一千圓を阿野飛行士に贈つた

### パルプ工場の誘致運動

【敦化支局發】過般滿洲國實業部にてパルプ四會社設立認可せらるゝや、木材の都として又近かくに牡丹江の清流を有し工業土地として地理的な好條件を具備してゐる敦化の日滿有志は之れが誘致運動に關し協議中であつたところ愈々其の運動具體化して廿一日午前十時より敦化戲院に於て日滿合同市民大會を開いた、日滿市民は定刻前より潮の如く會場の內外を埋めた定刻に至り日本民會長飯田氏は萬雷の拍手を以て迎へられて開會の挨拶をなし直ちに座長に飯田氏を押して愼重に議事は進められた、名稱をパルプ工場誘致敦化期成同盟會と一決し、委員日本側三九名、滿洲側十二名、朝鮮側八名を決し、別項の決議文を萬場一致可決して關東軍司令部、駐滿大使館、滿洲國實業部大臣宛に請願電報を打つた、引續き激勵演說に移り內鮮滿人數十名の辯士出で火を吐くが如き熱辯を振つて市民に非常な感動を與へて正午敦化未曾有の盛大裡に閉會した、閉會後直ちに委員會に移り左の通り委員長、副委員長推薦して具體的運動方法を協議した

委員長　古閑七郎
副委員長（日人）小林純吉
同（鮮人）高明元
同（滿人）張商務會長

決議文

パルプ工場設置に關し天惠の地理を占むる我か敦化三萬市民は當局に請願しえが實現を期す

右決議す

## 商況欄（八月廿四日後場）

### 金銀市況

●上海標金　前引（八七六、九〇）　後寄 ‖　歩 ‖

●奉天國幣對金票　現物 一〇〇、六五　一〇〇、七〇

▲八月廿八日限　寄付 九九、〇〇　引 九九、〇〇　出來高 一万元

### 爲替相場

▲上海爲替
▲日本向　第一回 賣 一三七、〇〇　買 一三七、五〇　第二回 賣買 ‖　第三回 賣買 ‖
▲倫敦向　第一回 賣買 一志六片一六分一〇　第二回 賣買 ‖　第三回 賣買 ‖
▲紐育向　第一回 賣買 三七弗一六分五 四分一　第二回 賣買 ‖　第三回 賣買 ‖

### 各地市況

●横濱生糸（後場引）　當限 七六七、〇〇　先限 八〇八、〇〇
●大阪期米　當限 ‖　先限 ‖
●神戶豆粕　當限 [illegible]　中限 [illegible]　先限 [illegible]
八月限 [illegible]　九月限 [illegible]　十月限 [illegible]　十一月限 [illegible]　十二月限 [illegible]

●手形交換（二十四日）
金票 三三三枚 [illegible]
鈔票 一枚 [illegible]
國幣 二〇枚 [illegible]



## 畑週報現物氣配

| 銘柄 | 拂込 | 最近配當 | 時價 |
|---|---|---|---|
| 四分利（一二） | 一〇〇、— | 四 | 九八、八〇 |
| 滿洲建國 | 一〇〇、— | 五 | 一〇一、五〇 |
| 滿洲四分 | 一〇〇、— | 四 | 九七、一〇 |
| 正隆銀行 | 五〇、— | 四 | 三〇、五〇 |
| 滿洲銀行 | 五〇、— | 四 | 三〇、五〇 |
| 新京銀行 | 五〇、— | 六 | 三〇、〇〇 |
| 滿鐵親 | 五〇、— | 八 | 六〇、五〇 |
| 滿鐵新 | 二〇、— | 八 | 二六、〇〇 |
| 東京電燈 | 五〇、— | 六 | 五一、〇〇 |
| 鬼怒川水電 | 五〇、— | 五 | 四二、〇〇 |
| 大同電親 | 五〇、— | 五 | 四三、八〇 |
| 大同電新 | 一二、五〇 | 五 | 九、九〇 |
| 電信電話 | 一二、五〇 | 六 | 六、九〇 |
| 電信電乙 | 一二、五〇 | 六 | 一三、三〇 |
| 新京取信 | [illegible] | [illegible] | 一一、五〇 |
| 東洋拓新 | [illegible] | [illegible] | 一一、三〇 |
| 旭紡績株 | [illegible] | [illegible] | 一二、六〇 |
| 滿洲紡績 | [illegible] | [illegible] | 六五、〇〇 |
| 滿洲製麻 | [illegible] | [illegible] | 六五、〇〇 |
| 奉天製麻新 | [illegible] | [illegible] | 一八、〇〇 |
| 日滿亞麻 | [illegible] | [illegible] | 一五、五〇 |
| 滿洲棉花 | [illegible] | [illegible] | 一一、〇〇 |
| 日本糖新 | [illegible] | [illegible] | 六〇、七〇 |
| 北海製糖 | [illegible] | [illegible] | 四三、三〇 |
| 滿洲麥酒 | [illegible] | [illegible] | 二六、五〇 |
| 日滿製粉 | [illegible] | [illegible] | 三四、〇〇 |
| 商船新 | [illegible] | [illegible] | 一二、九〇 |
| 川崎造船 | [illegible] | [illegible] | 二五、六〇 |
| 滿洲興業 | [illegible] | [illegible] | 二四、八〇 |
| 土木金業 | [illegible] | [illegible] | 一四、八〇 |
| 新京建物 | [illegible] | [illegible] | 三二、〇〇 |
| 東亞殖產 | [illegible] | [illegible] | 二、〇〇 |
| 大同產業 | [illegible] | [illegible] | 二、〇〇 |
| 太陽產業 | [illegible] | [illegible] | 一、八〇 |
| 周水土地 | [illegible] | [illegible] | 三、三〇 |
| 滿洲工廠 | [illegible] | [illegible] | 一九、五〇 |
| 滿洲化工 | [illegible] | [illegible] | 二八、〇〇 |
| 日滿アルミ | [illegible] | [illegible] | 一三、〇〇 |
| 東滿パルプ | [illegible] | [illegible] | 七、二〇 |
| 東亞煙新 | [illegible] | [illegible] | 三三、三〇 |
| 日魯漁新 | [illegible] | [illegible] | 二七、三〇 |
| 滿洲セメント | [illegible] | [illegible] | 六、五〇 |
| 哈爾賓セメント | [illegible] | [illegible] | 一一、八〇 |
| 日本電工 | [illegible] | 三 | 八二、五〇 |
| 同新 | [illegible] | 三 | 二六、二〇 |

### 回內容充實積極方針の東洋拓殖

同社の既往は一般周知の事情にて外債問題に惱まされ株價亦涉々しからぬ底位にあれど滿三年來內容の改善速々充實され滿洲建國と同時に特種會社の本能を發揮し傍系會社の業績亦顯著なるものあり續々積極方針に轉じ來るべきは北滿に一大集團の拓殖移民の計畫あるなぞ主要なる收入は事業部の內鮮に於ける米作上期豫想よりも增穫となり時偶々米價の昂騰を告げ來期は數五十萬石の增量計畫確立され居る一方底金利は社債借換へに生ずる年額三十余萬圓の支出、輕減し內容の安固充實の跡瞭然たるに起因してか近時配當復活の聲を聞く亦當然の推移ならん昨今決定を見たる朝鮮入金山合同は元同社が不況時代に擔保流れとして入手せる永興、枡外、金鑛、なぞの金山を大仕掛に發掘し更に東興金山買收の計畫もあり（昭和肥料森社長の經營する）泉浦、浦なぞと合同して大規模に產金事業を營む事になつた新會社は公稱資本五百萬圓見當にして創立同社より全部投資經營の管業績の先途異常發展性に富み投資物としての妙味も存し前陳の好材料に惠まれつゝあれば株價の更生も早かるべく要は對滿投資の要諦として同社株式を介在するは萬全の良策ならんかと此處に御推奬申上候

### 回押目買に押目なしか？

僑て短期方面內地市況益々好況四圍の良仕は群衆心理に一大轉換を來し底意堅調米國景氣の反響は生糸人絹高を先驅としての商品高に好感特種工業株の買漁りは遂に日產新東の昂進曲と益々活況を並し與三日の市場は目先利喰と混戰にして所謂秋相場の前哨戰にして序幕に過ず未だ一期戰も未了たるの感あり亦財界人の關心を拂ふ（藏相の明年度は增稅せずとの聲明）に向心明朗一班押目買人氣と化し居將來好材料の百出（對支問題の好轉とか）は一大活躍を可演波瀾重疊を約束され居此機逸せずに出動は御勝算あらん事を

## 北滿

# 通匪の弊害に鑑み私設警備隊禁止
## 實業部直屬の警察隊を編成
## 森林業者への福音!

【ハルビン國通】民政部では從來森林業者自身が警備隊を所有してゐたことが通匪事件其他の不祥事件頻發の原因となつてゐるのに鑑み今般實業部と協議の結果新たに特殊警察隊として森林警察隊を編成し之を同部直屬となし、指揮官としては當該警務廳が當ることゝなつたが、濱江省では七百名が配置される事と決定したので、廿六日管下縣參事官を召集して編成、配置、警備方法等に關し協議會を開く筈である、尚ほ伐採量は濱江省のみで七十萬石、主なる區域は五常、海倫、鐵驪附近と指定された、この結果業者は伐採區域を實業廳へ申請し委員會の裁定を經て前記警察隊の保護を受け工事に取掛る事となつた譯である

## 農村經濟再建期し新規事業を計畫
### ＝濱江省の腹案期待さる＝

【ハルビン支局發】北滿農村の窮乏打開、農村經濟再建につき鋭意努力を拂つてゐる濱江省實業廳では既報の如く

一、模範農村設置（經費一〇、〇〇〇圓）
一、省立苗圃設置（經費五、〇〇〇圓）
三、農産品評會開催（經費三、〇〇〇圓）
四、農作物立毛品評會開催（經費二、〇〇〇圓）
五、豚コレラ免役區設置（經費三、八〇〇圓）

の五項目につき既に實業部より豫算の配附を受け着々と事業實施し所期の効果を收めた更に費用一萬二千圓を投じて小麥、大豆の優良種子を買上げて來春の播種期に廉價をもつて農民に貸下げる、而して北滿の大豆、小麥作の改良指導をなし併せて增産計畫を樹て、全滿小麥の不足を補ひ輸入小麥の防止に資する筈で、優良種の買上は孰れも新糧出廻期前に係員を派して適當に買上げをなさしめる 買上品は當局によつて保管し來春の播種期に各縣當局の手を通じて配給する方針である 實業廳の計畫による今年度內の實行計畫は大体以上の如きものであるが、牧野農務科長は康德三年度の新豫算においても次の如き計畫を立て目下腹案を練つてゐる

新規事業計畫

一、農事講習會開催計畫 農家の閑散期を利用して各縣に配屬されてゐる農事指導員により農民に農事改良耕作法の改善、副業の奬勵等につき基礎智識をあたえるために講習會を開催するこの經費約九〇〇圓

二、農會の改組と省農會の設置計畫 滿洲國農會法は民國十九年の制定にかかるもので現下の情勢には適應しない、よつて農會法の改新を中央部に申請し先づ費用一萬五千圓を投じて省農會を設置し次で各縣既存農會を新時代に順應せしむるために機構の改革をなしてその活動を促進せしめんとするもので補助費三萬圓を計上する筈である

三、產業輔導委員會設置 日鮮人の移民農作により各地に紛爭惹起の傾向あるに鑑み日本領事館、特務機關憲兵隊と協調して委員會を設置し、紛爭防止、紛爭事件の處理にあたらんとするもので費用五千圓

四、義倉積穀制度 義倉の管理は從來民政廳の所管になつてゐるが、今後は相提携して義倉制度の運用を圓滑にして不時の災害に遺憾なからしめる

五、北滿小麥協會設置（既報省略）

等の腹案を抱懷してゐるが、廿七日新京で開催される全滿農務科長會議に上京する機會を利用して中央部に腹案を提示し具体化をはかる事になつた

寫眞 ゲージ變更と共に直通するあじあ發着ホームと新設するハルビン驛

## 北鐵土地建物「整理委員會」
### 二班に分けて整理に當る

【ハルビン國通】輸送委員會の解散に引續き哈鐵では、更に接收により殘された北鐵の土地建物を整理すべく新に平田謙一郎氏を委員長、滿鐵地方部の石岡武氏を副委員長、加藤武雄少佐を顧問、北鐵各科長主任を委員とする北鐵土地建物整理委員會を近く設置することになつた、同委員會は土地、建物の二班に分れ左の業務を管掌する筈である

一、北鐵用地の基本的計畫に關する事項
二、北鐵用地と滿洲國鐵屬地との境界設定に關する事項
三、接收建造物の善後處置に關する事項
四、軍及び滿洲國その他に對する建造物使用協定に關する事項
五、軍及び滿洲國その他各機關との交渉に關する事項



三味線—貞奴、富勇、五月
彌生、照葉、秀丸
一蝶

## 澁谷本部隊長就任挨拶宴

【チチハル國通】チチハル駐在澁谷新本部隊長は廿三日午後六時よりチチハルホテルに金省長、張司令官、內田領事以下日滿要人を招き就任挨拶をなし、酒宴に移り午後八時金省長より歡迎の辭を述べ、盛會裡に散會した

## 王西林憲兵隊に逮捕

【敦化支局發】兼ねて敦化憲兵隊に於て注目の的とし必死手配搜索中の苗圃部隊、食糧財務、拉致者の金錢交涉係員王西林（二三才）の外一名は二十日午後八時逮捕せられた尚紅槍會匪王大法師の部下劉雲廷（二五才）外一名逮捕され引續き之が一味逮捕に出動中である

## 農安領警署長赤木又一氏送別會

【農安發】二十二日午後六時より當地春美館に於て前署長赤木又一氏の送別會あり、氏は着任當初より其力を日滿親善と和平に注ぎ行績多大なるものもあり、加へて昨年來農安居留民會同帝國在鄉軍人分會設立に功顯しく會員多數出席して盛會を極め九時散會した

## 海城、營口大氾濫
### 家屋損害二萬戸 死者廿四

【奉天國通】先般來の豪雨で太子河、渾河、遼河の合流地點たる海城第四、第六、第七區及び營口縣第七區に亘る一帶は大氾濫を來し現在の水深六尺で一日僅かに二三寸の減水を見るに過ぎず浸水家屋一萬二千四百六十餘戸、倒壞家屋五千三百戸、流失家屋一千七百七十戸、溺死者二十四名を數へ交通全く杜絶し農民は飢餓線上に彷徨する慘狀を呈してゐる、奉天省公署では二十三日楠田民政廳土木課長以下を現地に派して調査せしめこれが應急對策を講ずることゝなつた

## 東滿

# 江上に船浮べて夏景吉林の紹介
## けふ午前十一時五十分から日滿全土に中繼放送

【吉林支局發】二十五日（日曜）の午前十一時五十分から三十分間に亘つて行はれる當地よりのラヂオ放送は滿洲國內のみならず日本全國各地へも中繼される筈なので觀光都市としての吉林を紹介宣傳するには絶好の機會と目されてゐるがその日の放送番組は大体左の如く決定した

一、（講演）吉林市の現勢 吉林市長 徐家桓氏
二、滿洲鵜飼の實況 アナウンス
三、吉林松花江の風光 アナウンス
四、吉林小唄 節付 常磐津 長太夫 唄—博多屋染香 一龍 三味線—博多屋愛香
五、京吉小唄 作詩節付 三浦祿郎氏 唄—金花、喜代香、愛京



## 吉林警察廳 衛生座談會開催
### 諸施設の改善を議す

【吉林支局發】吉林警察廳に於ては吉林都市計畫中の主要事項たる衛生施設の件に關し廿一日午前九時半より廳長室に於て衛生座談會を開催したが、國立醫院、領事館警察、市政籌備處、警察廳各科長、各區警察署長、當地守備隊其他の衛生關係者多數の出席あり、廳長の開會の挨拶に次で衛生科佐藤指導官司會の下に議事に入り、先づ傳染病隔離病舍の施設促進の件に就て意見の交換があつたが、市政籌備處の財政難の點から急速に新設は望み難いたから籌備處の手にて適當の場所に隔離病舍向きの家屋を求め、市內有志者の寄附を仰ゐで之を病舍向きに改造した上其經營を醫師會に委任し每月三、四百圓の補助を籌備處から出すと云ふことに決定した、次に下水道の施設改善が議題に上つたが之れは何分にも莫大の經費を要するので徐々に其完備を期すと云ふ事にて話を纏めるの外はなかつた、其他の座談資料は

一、衛生思想の普及徹底
一、傳染病發生時に於ける消毒施行
一、花柳病豫防の徹底方策
一、衛生籍の增設並に覆整施行
一、糞尿汲取の時間制限
一、私設便所及共同便所設置
一、清潔會費の納付に關する件

の諸事項につゐても夫れ〱懇談、約三時間を費やして零時半頃に閉會した

## 興安嶺一帶の景勝地を探る
### （五）島本本社支局員

事變前は日本人一名も居住してゐなかつたが、事變後皇軍入城と共に日本人の進出となり、鮮人は札蘭屯特區內に居住する者の外に夏季には南方郊外約十五支里の地點で、土地を借用し雅魯河流域に水田を集團經營してゐる、札蘭屯の人口を人種別に示すと左の如し

| 人種別 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 漢族 | 二、四六六 | 一、二六一 | 三、七二七 |
| 滿族 | 九二五 | 六六九 | 一、五九四 |
| 蒙族 | 三六八 | 一八五 | 五五三 |
| 回々族 | 八四 | 三七 | 一二一 |
| 其他族 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 朝鮮人 | 一一二 | 一〇七 | [illegible] |
| 無國籍 | 一二二 | 一〇一 | 二二三 |
| 希臘 | 一五 | 一四 | 二九 |
| 日本人 | 大九二 小二三 | 大六三 小一九 | 一八七 |
| 鮮人 | 大三五 小一九 | 大三三 小六 | 九六 |
| 計 | 四、四三三 | 二、三〇七 | 六、七四〇 |

惜し部落は蘇炳文反亂事件のために、全部荒らされて徒らに廢墟の寂しさをかこつてゐる鐵路局では明年六月迄約廿萬圓を投じて之等の附屬建築物の大修理をなして更生策を執る事に決定してゐる、スラブ文化の粋を誇つただけにクラブ、ホテルの設備は在りし日の豪奢繪卷が想像されるそれだけに埃にまみれ

**蜘蛛** の巣の張つてゐる室內は一種の悽愴さが色濃い、今年はこの有樣なので避暑客は一人も來なかつたといふ

雅魯河は昨夏の水害で水派が變り今では市街の西を流れてゐるので、來年は是非とも水を堰き止めて市內に流すやうにすることになつてゐると云ふから山の條件の揃つた町に水を引けば市街の景觀に畫龍

◇……◇

キャンプの一夜は至極平穩に明けた、鐵路局の好意でこの山の中で朝食に味噌汁がすゝれたのは有難かつた、この日はキャンプ村を午前十一時に發つて札蘭屯に歸つた、伊藤驛長の案內で市內の見學をなした舊北鐵から

**接收** した諸設備を見せて貰つたが、オストロウモフ東鐵管理局長時代に、西部線の繁榮策として當地を避暑避寒の別莊地として諸般の設備を施してゐただけに、さすが豪奢なものである貸別莊廿三戸鐵道倶樂部ホテル二戸、溫室、音樂堂とそれ〱の設備があるが沿線の風景美の圈內では札蘭屯が日本人の嗜好に一等適するのではないかと思はれる、既設の建物に手入れをするだけで、立派に避暑、避寒地として更生出來るから明夏の發展は期待してもよいだらう 電燈、水道も有難いことには舊北鐵がそのまゝ殘してゐてくれるから之も利用出來る札蘭屯の經濟的價値はあまりない、目ぼしい

**物産** もないので滿人も多くその日暮しをしてゐる、たゞ避暑地として更生さすより外は札蘭屯の今後はない譯である市內の見學を終はり午後一時半に次の目的地巴林に向つた

＝キャンプ第三夜＝

巴林の第二夜をすませて最終目的地の興安にわれ等一行がテントを携えて到着したのは十一日午後四時過ぎであつた、こゝ興安驛は哈爾濱を去る五六三粁その名の示すが如く大興安嶺の屋根に位し、延長三〇七七米の大隧道より一、〇六粁西北に位置し一帶は廣軌全線の最高處を占め風光雄大にして一帶思はず快哉を叫ばしむものがある

（原稿一部未着のため昨（四）と本日（五）とが前後しました、御諒承下さい）





| 學歷 | 職能 | 年齡 |
|---|---|---|
| 中學卒 | 事務 | 三二 |
| 尋小卒 | 店員 | 二〇 |
| 講習所 | 教員 | 二八 |
| 高小卒 | 蹄鐵工 | 二五 |
| 工校 | 家具製造 | 二〇 |
| 高小卒 | 店員 | 二六 |
| 專門部政經 | 商業 | 三七 |
| 高小卒 | 農業 | 二九 |
| 養成所 | 通信事務 | 二四 |
| 中學三 | 印刷工 | 二〇 |
| 高小卒 | 商業 | 三七 |
| 明大商科 | 商業 | 四二 |
| 高小卒 | 店員 | 二〇 |
| 高小卒 | 機關工 | 二七 |
| 教習所 | 巡査 | 二五 |
| 高小卒 | 測量手 | 三三 |
| 商校三 | 土木 | 二六 |
| 中校卒 | 事務 | 二六 |
| 商校卒 | 商業 | 二九 |
| 慶大中退 | 事務 | 二八 |
| 慶大中退 | 雜誌記者 | 三七 |
| 商校卒 | 事務 | 二六 |
| 中學卒 | 事務 | 二五 |
| 工校卒 | 事務 | 二四 |
| 商校三 | 土木 | 三九 |
| 中學四 | 商業 | 二六 |
| 高小卒 | 機械職工 | 二六 |
| 商四 | 店員 | 二三 |
| 高小卒 | 商業 | 二七 |

# ラヂオ

## けふの番組

廿五日(土曜)(新京放送局)

六、〇〇 建國體操(滿語)
六、一五 ラヂオ體操(大連)
引續き 入港船の御知らせ(大連)
七、二〇 全滿天氣豫報(大連)
七、二二 朝の音樂(大連)
八、三〇 子供の時間(東京)
うたのおけいこ 子供のテキスト八月號特選童謠
一、夕やけ 四家文子 増井上枝作詞 長妻完至作曲
二、臨海學校 關根芳男作詞 堀内敬三作曲
九、四〇 講演(東京)
倉敷勞働科學研究所 都市兒童の發育と體育 醫博 八木高次
一〇、一〇 子供の時間 新京特別市立西四道街 故事與唱歌
一、故事 三姉妹 兩級小學校生徒 六年生 宋雲樓
二、唱歌 漁光曲 五年生 邵桂花 外九名
一〇、四〇 演藝(滿語) 伴奏 韓乃雲先生
蝲蝲 絃子 大鼓 于茂林 二胡 遲松樵 麥花
一〇、五九 時報(東京)
一一、五〇 ‖全日滿中繼‖ 「松花江ヨリ吉林ヲ見ル吉林附近松花江上ヨリ中繼」 新人の午後
〇、二〇 映畫物語(大阪) 石野馬城
〇、五五 新内(東京)
一、一五 吹奏樂 海軍軍樂隊
一、四五 俗曲(東京) 吹き寄せ
二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(東京)
引續き野球試合實況‖西公園グランドより中繼‖(雨天順延)

○備考野球休止の場合は平常番組通とす
五、二五 氣象通報・番組豫告 藤倉電線對滿洲國 二回戰
六、〇〇 ニュース(東京)
引續き ニュース
六、三〇 國民の時間(日語) 滿洲國縣市地方稅制改正について 民政部地方司總務科長 岡本繁
六、五〇 名所案內くらべ(京城)
七、一〇 落語(東京) 三升家小勝
七、三〇 尺八(東京) 百瀨芳童
七、四五 箏曲(東京) 池田幸童
八、〇〇 浪花節(東京) 中能島欽一 廣澤瓢右衛門
八、三〇 時報・ニュース(東京)
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告(滿語)
九、〇〇 演藝(滿語) 崑腔「琵琶記」 滿洲國樂社全體演員
一、賞荷 二、梁洲新郎
九、四〇 講演(鮮語) 朝鮮人勞働者に就て
一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱) 民政部社會科 李春根
一、講演 人に對する考慮 ヴラーソフ
二、レコード
三、詩の朗讀

ラヂオの御用は **東京無線** 電四九二〇番

## 明廿六日の番組

(午前之部)
六、〇〇 建國體操(滿語)
六、一五 ラヂオ體操(大連)
引續き 入港船の御知らせ(大連)
六、三〇 初等滿語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七、〇〇 初等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七、二〇 全滿天氣豫報(大連)
七、二二 朝の音樂(大連)
八、三〇 經濟市況(東京)
九、四〇 經濟市況(大連)
一〇、〇〇 料理獻立
一〇、二〇 經濟市況(大連)
一〇、四〇 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、〇一 經濟市況(東京及大連)
一一、四〇 ニュース(東京)
(午後之部)
〇、〇一 經濟市況(大連、引續新京)
〇、二〇 ニュース(滿語)
〇、三〇 建國體操(滿語)
〇、五〇 ニュース
二、〇〇 經濟市況(大連)
引續き 日用品值段(滿語)
二、二〇 成人講座(滿語) 關於衛生的詳解(四) 新京特別市民衆教育館講師 馬歩雲
二、四〇 演藝(レコード)(滿語)
二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(東京)
三、三〇 經濟市況(大連)
三、五〇 ニュース(鮮語)
四、三〇 ニュース(鮮語)
四、四〇 演藝(英語)
四、五〇 ニュース(英語)
五、〇〇 子供の時間(哈爾濱)
口琴、曼陀林 哈爾濱無名樂組 指揮 羅悌
一、演 宮秋月 羅健
(口琴)…羅悌
二、與國歌(同)…羅傑
三、比翼鳥(同)…羅健
四、軍艦進行曲(同)…羅悌
五、紅(同)玫瑰…羅傑
六、露斯進行曲(同)…羅健
七、小桃紅(曼林)…羅悌
八、伏爾家船夫曲(口琴合奏)
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 政府公報(滿語)
六、三〇 國民の時間(滿語) 關於滿洲國縣市地方稅制之改正 民政部地方司長 黃富俊
六、五五 琵琶 小栗晒 藤旭鷹
七、二〇 物語(大阪) 釣鐘草 吉屋信子作
八、〇〇 凉み臺一問一答藝談(東京)
八、三〇 時報ニュース(東京)
引續き ニュース
八、四五 ニュース、經濟市況 氣象通報、番組豫告(滿語)
九、〇〇 舊劇(哈爾濱) 牧需關 唱 于佐臣 外三名 場面 鄒本源
一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱) 外五名
一、講演 狂信主義政權 クルバートフ
二、ニュース
三、フレーズリュデイガー作曲「歌劇ルイーズ」幻想曲 シャルパンテイエ作曲

### 今日の主なる放送番組

▲前一一・五〇「松花江より吉林をみる」▲後〇・二〇新人の午後▲六・五〇名所案內くらべ(京城)一、慶州(慶州保勝會社囑託藤崎美惠)二、京(城城京遊覽バスガイドガール韓玉順)三、金剛山(外金剛驛長 小林喜六)四、平壤(平壤觀光協會囑託 張殊天)▲七・一〇落語(東京)藥罐 三升家小勝▲七・三〇尺八(東京)虛空鈴慕 百瀨芳童▲七・四五箏曲(東京)一、島小舟(田藤情風作詞、中能島欽一作曲)中能島欽一 二四季の調(今井慶松作曲)箏音中能島欽一、同高音、笠原松壽、梅野勝松▲八・〇〇浪花節(東京)

電氣修理と **ラヂオは前川** 電五九五一番

# 小唄、鵜飼に寄せて水鄕の夏景を紹介

午前十一時五〇分 吉林松花江より

## 全日滿中繼 定期

長白山脈に源を發した松花江は、或は重疊たる山嶽地帶を流れ或は一望漠々たる原野を縫つて、吉林附近からは西北に向つて滔々と流れてゐる吉林の地は、北緯四十三度四十七分(旭川と同じ)東經百二十六度五十三分(京城と同じ)市街はS字型に灣曲する松花江の北側に、綿々里餘に亘つて續いてゐる
東、北、西、三面は小白山、北山、龍潭山の三名山と之れを繋ぐ連山に圍まれ南方は僅に拓けて小丘が起伏し、所謂山河襟帶の地形によつて其の風光は南北を通じて隨一と稱せられてゐる、殊に水鄕吉林の美しさは夏季に於て見られ鈴蘭芳る北山から眼下指呼の間、翠綠を縫つて白一筋に流れゆく、大松花江を眺め、或は楊柳茂る岸邊に近く江上に棹さすならば、暫は仙境に遊ぶの感があらう高麗時代の城址と傳へられる團子山、或は淸朝發祥の地として重んぜられる長白山の山靈を祭る小白山上の望祭殿、或は省城の東方に聳立する龍潭山上の龍鳳寺等、水都吉林の歷史の古さを物語つてゐる

◇…………◇

今日の放送は市街中央部より江上に舟を浮べ最初に徐吉林市長が日語で吉林のプロフキルを語り、次で松花江を遡りつゝ沿岸の情形と、野趣滿々たる鵜飼の實況放送によつて江岸の夏の姿を描き出し、最後に藝妓連中によつて吉林小唄と京吉國道小唄を紹介せんとするものである、京吉國道小唄は前吉林總務廳長三浦碌郞氏の作詞作曲になるものである

一、講演
「吉林を語る」(日語) 吉林市長 徐家桓
二、江岸風景及び鵜飼實況放送
三、『京吉國道小唄』
作詞 作曲 三浦碌郎
唄 「金花」喜代香 愛京 照葉 藤丸 彌生 秀丸 貞奴 富勇 五月 一蝶
三味線 〃

(一)春は嬉しや氷も解けてヨイ〳〵 見やれ北山の花ざかり
二、流す筏で假寢の枕ヨ 妻戀しゆて胡弓をひけば 月がふります、月がふります 水かゞみ ホンニアレハサノ やるせなやよ
三、けふはうれしい北山まつりヨ 娘々廟から あの人見たが ならぬ人の波 ホンアレハサノ 人の波
四、鵜飼見ようとて 松花江下りやヨ
五、峰の小島に しぶきがかゝる 潤れぬ龍潭 尋ねて行けば 燃ゆる紅葉が目にしみる ホンニアレハサノ 目にしみる
六、誰を待つやら 柳の下でヨ 沈む夕陽に 頰染めながら 旅人娘の 旅人娘の あですがた ホンニアレハサノ あですがた

四、吉林小唄 作詞 作曲 永田俊原 唄 常盤津長太夫 「博多屋」一龍 三味線 同 染香 同 愛香
一、吉林うれしや 滿洲の新都ヨ 縛る九峰に 鈴蘭かほりや 間の松花江、間の松花江 水かゞみ ホンニアレハサノ
皆來いヤレ來い ドライブ〳〵京吉路
(二)夏は嬉しや松花江の流水ヨイ〳〵 晝はハヤ釣り夜は涼み 皆來いヤレ來い ドライブ〳〵京吉路
(三)秋は嬉しや龍潭山よヨイ〳〵 顏も眞赤に紅葉狩り(折返し)
(四)冬は嬉しやスケートリンクヨイ〳〵 八百米直コース(折返し)

寫眞說明 吉林松花江の鵜飼實況

たく舟べり 船頭の聲に はやる鵜飼の はやる鵜飼のしぶきが ホンニアレハサノ しぶきがかゝる

## (野)(球)(實)(況)(放)(送)(午後三時)
―西公園グラウンドより中繼―
藤倉電線 對 滿洲國
放送擔當者 美濃谷君 山崎君

## 新人の午後
―後〇・二〇―

### 映畫物語(大阪) 影なき男
石野馬城

發明家クライド・ウヰナントは女秘書のジュリア・ウルフのいざこざから妻のミミと離別して永年獨身生活を送つてゐた、彼の娘のドロシイと義弟のギルバートとは母方に引取られてゐた、ミミはクリスといふ若い男と同棲してゐたがドロシイは母を嫌つて父のクライドを慕つてゐる、クライドは發明上の用件で誰にも行先を知らさぬ秘密の旅に出た。そして金の入用な時は顧問辯護士のマコウレーを通じて秘書のジュリアに金を送らすことにしてゐた
ドロシイはトミイといふ青年と戀に陷ち結婚することになつてゐた、其結婚日が迫つてゐるのに父クライドからの消息は杳として絕えた、母のミミは心配のあまりジュリアの許へきてクライドの行先を聞かうと訪ねてくるとジュリアは何人かに慘殺されてゐた、クライドは依然として姿をくらました儘なので嫌疑は彼の上にかかつた
今は職を罷めて田舍に引込んでゐた名探偵ニックは偶然紐育に出てきて、クライドと舊知の間柄であるといふので、やく〳〵事件を依賴されてしまつたクライドの失踪後三ケ月目に又第二の殺人事件が起つたそれもジュリアに關係のある男だつた、ニックは單身クライドの留守宅へふみこんで發見したのは又一個の屍體だつた、死後時日を經過してゐるので何人とも判明しなかつたが服裝其他からクライドに昔、怨みを抱いてゐた男らしく之れも亦クライドの犯行だと斷定された
然しニックだけはこの屍體がクライド自身であると判定し、犯人の見當もついたが更に其確證を握るためにクライドの周圍の人間全部をクライドの晚餐に呼んだ、其處にはミミ、もドロシイもクリスも辯護士のマコウレーもジュリアの前の情夫のモレリも前科者の屋人タナーも警察部長のギルドも其他凡ゆる關係者が網羅された ニックは會食中に立上つて事件に關する獨自の推察を順々と述べ、遂に土壇場まで押しつけて會食者の一人を犯人だと指摘し、首尾よく彼を逮捕することが出來た

### 新內(東京) 蘭蝶
黑羽幸一郎

義でこそあれ末かけて、約束堅め身を堅め、世帶堅めて落付いてあゝ嬉しやと思うたは、ほんに一日あらばこそ、そりや誰故ぢやこなさん故、大事の男をそゝのかし、夜晝となく引付けられ、商賣事は上の空、贔負で呼んで下さんす、馴染のお客茶屋衆も、來る度每に又留守かと、愛想つかされ後々は呼んで吳れても內證の、詰り詰つて妾が身を賣つて渡したその金を、又こなさんに入揚げられ、嬉しからうか好からうか、腹が立つやら口惜しいやら、食付きたい程思ふたは、今日まで日には幾度か其恨を打棄てゝ、互のための心底話……處をヨウ聞かしや 蘭蝶殿に身を立てさせ小商でもはじめさせ、人並相應な暮しもして、末々長うそはうとの、樂みばかりに恥も世間も顧みず、身を沈めたる深川竹の憂き勤め、人には妾が好き好んで、賣られて來たの、手切れぢやのと浮名立てられ指さされ、口惜しうて悲しうて、淚に剝げし白粉の顏を直して呼出しの

### 吹奏樂
海軍々樂隊 指揮 內藤淸五
一、「エグモント」序曲 ベートーヴェン作曲
二、「庭の千草」によるパラ

### 夏川靜江さんの花物語「釣鐘草」
廿六日後七時廿分大阪から

演者 吉屋信子・作 夏川靜江
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ
伴奏作曲並指揮 宮原禎次

…………夏川靜江さん

「物語」はBKが昭和七年の秋はじめてラヂオプログラムに加へた放送種目でその後十數回に亘る全國中繼によつて今では重要な慰安放送種目の一つに數へられるに至つたがそも〳〵最初の放送は實にこの釣鐘草(昭和七年十一月二十四日夜)であつた。これは新らしい試みのことでもありBKのローカルとして放送されたが聽取者に與へた感動は甚大で賞讃と感激の投書はBKと演者夏川靜江(當時日活スター)の許へ殺到したといふ記錄つきの名物語である。
これを今夜同一臺本同出演者によつて再放送し全國に中繼するのであるが今度は前回と違つて伴奏音樂を輕管絃樂とし之れが作曲と指揮を宮原禎次氏が擔當する。尙この物語は吉屋信子氏の花物語の壓卷と云はれる傑作で氏一流の純眞流麗な詞句は聞く人の心を强くうつものがある。

◇…………◇

私の家は村でも指折りの豐な家でございましたが私の幼い頃いつとはなしに父は酒食に荒む樣になり遂には廣い家屋は人手に渡りいままで我慢してゐた母の實家では父に愛憎をつかし母を無理矢理に實家へ歸らせました。住むべき家もなくその上天にも地にもかけがへのない母に離れ、私と弟の雄吉は隣り村に古くから醫師をしてゐる伯父の許にやられたのでした。何と悲しいことでせう。その後母は伊勢の方のある街へ嫁いだとの噂の行衛さへ分らないといふこと亂行を續けた父はその後身の家への問ひ合せによつて證明かかりました。而しそれは紛失事件が起りその嫌が私にかかりました。而しそれは紛失事件が起りその疑が私にるといふ日突然寄宿舍に十圓買へると思へば、所が明日歸受けた私はどんなに嬉しかつたでせう。弟のために木馬がもすみ十圓の寫字への謝禮を引受けたのでした。學校の試驗を得るため或る豪家の寫字を日曜の午後歸校の途何とかして弟に木馬をと決心しその金そうでした。
い弟は遊びにも全くさびししてみな我儘な小さい暴君でした。只ひとり木馬のなで何不自由なく甘やかされて育つた從兄弟達は弟に對が出來ました。兩親の手許に弟のふびんさを知ることけれども久しぶりに見て更曜へかけてその短い歸省がどんなに嬉しかつたでせう休みを待てずに土曜から日姿が頭をはなれません。夏弟の姿が、淋しそうな弟のことにさびしいものでした宿生活それは私にとつてま得無事試驗も通り入學した子師範にお願ひして許しをに無理にお願ひして許しをしたいとの考へから縣の女衣食し弟を育て立派な人にてどうしても他日獨立して時自分達二人の行末を思つ私が高等科の二年になつた
◇
片時も傍を離れませんでした姉の私を慕つたことでせう。でした。弟の雄吉はどんなに
されました。一日おくれたもの〻、弟への木馬を買つて急ぐ私のうれしさ、然しそれは忽ち悲しみに包まれました。昨日弟は疫利のために亡くなつたといふ知らせ。もう一日早かつたらせめて臨終にでもと私の胸は張り裂けろばかりでした。
私は毎日々々泣いて暮しました秋草が咲き出る頃弟の墓近くに古代むらさきのいとしい釣鐘草が群がつて咲き出でました。
幾本かの釣鐘草がさびしく墓前にも咲きました。

## 凉み臺 一問一答藝談
廿六日午後八時(東京より)
花柳章太郎 木村莊八

…………花柳章太郎さん

…………木村莊八さん

しかし人形造りも突詰めて行くとコンポジションやポーズなど、どうしても造形美術を究めないと不可ないとさとつたことから、近ごろ木村莊八氏について繪畫論を勉强してゐます、こゝに繪畫の答がはじまります、一方木村莊八氏は夙に舞臺藝術にふかい關心を有し、男性が女扮する女形のむづかしさ、女形に最も大切な色氣が概觀して身體から發生する人と、藝から發生する側の人と二つあることなどを語り合ひ、女優に女形ほどの色氣の出ないわけや、舞臺の藝の大きさに話頭を轉じ、それから、花柳氏は先般上演して劇界に問題を投じた「屋春琴」の春琴に扮した時の苦心談を打明けます

花柳章太郎氏はかねてより巧緻な人形を造ることで有名で、病嵩うじて專門家の仲間入りもしかねない有樣でした

## (浪花節)……【後八・〇〇】……
### 乃木夫妻の伊勢參宮
唐澤瓢右衛門

兄は金州南山に、弟は二〇三高地、自分は君のあと慕ひ、續く夫人も諸共に、思へば悲しや父子夫婦、國の爲にと散つて行く、乃木の枝葉はかるゝとも、朽ちなきものは末世に殘すその敎訓、昔は楠今は乃木、世にも希典將軍の……
明治四十年の十月に奈良縣の大平野に陸軍特別大演習がありまして將軍は南軍の指揮官として此演習に參加され、歸途大和吉野に立寄られました吉野は櫻の名所にして十月秋の吉野に隨員の人々は何の感興もありませんでした、然し將軍は大曆秋の吉野の咲かぬ櫻を賞でられました、そして東京へ歸る途中伊勢大廟に參拜さるゝ事になり副官は直ぐ此儘參宮せんといふのを將軍は、謹嚴なる面持で廿日餘りの演習に軍服がきつく汚れてゐる自分は東京より大禮服を取寄せるから二日餘り部下を待たして立派に飾つた姿にて夫人と共に伊勢のお宮にぬかづき遊ばすといふ一席

## 俗曲(東京)
### 吹き寄せ
唄 鈴木秀華
三味線 鈴木あさ子

派手な由良さん(三下り)派手な由良さん手の鳴る方へ捕らまへて酒にしよ、酒にしよ藝妓やおやまに手を取られ、思はず九太夫にいだきつき、ても粗忽な由良さんぢや 今のはうそだと(三下り)今のはうそだと背をなでさすりや、はれた論で笑ひ顏女はエ、、强い樣でも弱いもの
都々逸 ひざをまくらに(歌澤)「ワッ〳〵と寢た頃」かけてやりたし立てもせず つがい蝶々が夫に離れ(淸元)「姿もいつか亂れ髮たがとりあげていふ事も、菜種の畑に狂ふ蝶、つばさかわしてうらやまし」菜の花訪ねて菊の花 梅は咲いたか(二上り)

## 書架

◇新聞之世界(八月號)吉川榮藏「型破りの新聞へ」思ひつき良く二反長平「現代ヂャナリズムの動向」日本の實狀を語りA・D・ブルーメンフェルド筆の「新聞今昔記」は英國のそれを語つてゐる、「新聞の珍聞」は大阪中心で局部的過ぎるニュース欄は平凡(大阪市北區中崎町三、新聞之世界社、五十錢)

本欄新刊紹介御希望の向きは本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

# 川柳からみた江戸時代の藥劑

小柳三平

今でこそ製藥會社は各地のビルに割據してゐるが、昔の江戸の製藥問屋は皆日本橋も本町三丁目に集合してゐた。今日ピカ〳〵光る醫療器械店になつてゐるいわしやがその後身に相違あるまいと考へる川柳家は詠じて曰く

三丁目匂はぬ見世が三四軒　（天明）

三丁目どうか病ひさうもなし　（同）

神農の屁は本町を通るやら　（文政）

但し括弧內の文字は詠まれた時の年號である藥の匂ひだけでなく、製藥の材料として種々な奇怪なものを乾かしたもので、穿山甲の皮や土蛙のミイラやらニコールの齒等、他所で見られぬものが多かつた即ち

本草を道へならべる三丁目　（天明）

得知れない物を乾しとく三丁目　（寬政）

割床で藥種挽いてる三丁目　（天明）

今でこそ無免許醫者は許されないが江戸時代には傷寒論の一冊も讀めば誰でも醫者になれたものであるそこで氣の利いた男は此の生藥屋に幾年か奉公してゐる中に、藥屋の番頭から醫者に轉向したものである、次の句がそれを示してゐる

俄醫者三丁目にて見た男　（不詳）

本町から出た醫者があると同時に醫者は職業柄始終この本町へ來たもので、本町三丁目は恰度醫者の藏宿の樣な觀を呈してたものと見えて次の句がある。

三丁目醫者の藏宿らしいとこ　（明和）

いわしや等といふ屋號は一向藥問屋らしくない、知らぬ人は魚屋かと思ふことであらう

そこで次句がある。

本町の餲屋下物賣らぬとこ　（文政）

當時の藥屋は看板として大きな袋を店頭に下げたので三丁目は到る處袋だらけであつた「狂歌江戸名所圖繪」に

諺の藥は九層倍々々の
大きく見ゆる袋看板

とあるが川柳にも拔目なくそれをとらへてゐる

袋町とも云ひさうな三丁目　（天明）

一丁目を藥袋でおつぷさぎ　（明和）

本町でせうなアここは袋町か　（文政）

所が本町四丁目に有名な三臟圓の元祖の店があつた「狂詩選」に「箱入人蔘三臟圓本家の酢屋は本町の邊世間の勞症虛分者一躰營め來れば生命全し」と激賞してゐるのが此の店であつて、川柳の中に「鰯だの酢だの」とある酢は、恐らく此の四丁目の酢屋の事であらう。因に此の店の元祖は玉川座の元祖玉川彥十郎であるといはれてゐる。之を川柳は次の加く扱つてゐる。

三臟圓に入れてある猿の肝　（天保）

二つ三つ袋四丁目まであまり　（安永）

四丁目もまだちらほらと匂ふ也　（天明）

右の中の第一回にある猿の肝とは孫悟空の三藏法師をかけたものであらう。本町から少し離れた中橋中通に有名な木谷實母散の本舖がある。元祖木谷藤兵衛は江州の人で元祿の頃水戸に出て大鋸町で新炭業を始めたが、三年間同家に世話になつた長崎の醫者が、同家を去る時禮の印として產前後の妙藥の秘方を敎へて行つたのが基になつて、正德三年以來藥屋となつてしまつた最初は眞大屋藥と云つてゐたのを後に堂々と實母散と改める。眞木屋も省いて木谷とした、川柳はその昔の姿を詠じてゐる。

眞木屋藥は賣上げをかねてる　（天保）

へつついの中で眞木屋を女房のみ　（天保）

此の藥が非常賣れた。川柳にも次の句がある

中橋の藥繼母にやきかぬやう　（天保）

里へ來て氣兼せず飲む實母散　（文化）

之が賣れるので早速にも物が出來た、即ち

中橋の木谷は母が世をずこす　（天保）

ニセ物丈ならば良いが、更に本家爭ひが起つたそれは千葉實母散と稱して千葉常胤なる者が文明二年に嵯峨御所の御典醫が草根木皮十七品を調合して實母の病氣を全快させた靈藥で木谷の元祖より二百年も古いといふのである千葉氏の當世は常胤から三十三代目木谷氏の當主は九代目で何れも現存の人であるが、何分古い昔のことを爭つてゐるのであるから、內外漢には何れが本家とも云ひかねるのである。

◇池邊貞喜

これは蓮香班の女である。まことになよ〳〵とした美しい線をした娘であつた。宮坂勝氏は奈良の如意輪觀音の像を見るやうだと云つたが、旅行者のみの感激だけではないやうだ。

## ラヂオドラマ 研究會員募集

ラヂオ、ドラマを通じて文藝運動の一分野に活動を開始することになつた新京ラヂオ、ドラマ研究會では涼秋來と共に同人一同緊張して一歩前進の準備中であるが、之と共に演技部の擴充を期すること丶なり、一般に開放して入會に應ずることになつた、

入部資格は熱心な劇愛好者たることが第一、身許確實、思想中正、可成夜間差支へなき紳士、淑女で、入會は大体右の條件に於て、演出部同人の承認を經たるものを許可する方針で、申込みは本學藝欄氣附新京ラヂオ、ドラマ研究會で宜しい、尙、同會では今後每月一回放送を期して、一週二回位の練習を行ふ筈



◇日曜讀物◇

# 女と匂ひ

K・K・B生

## 匂の動物

女は匂ひの動物だ—と云はれてゐる、しかし、科學者の研究は男は香料約二百餘種を全く嗅ぎ分けることが出來るが、女はまづ五六十種を嗅ぎ分けられゝば最高だといづた男の嗅覺力は女のそれよりも能動的であることが立證されるわけだ

だが、女は匂ひに對してはことに男の匂ひ—それが惡臭であつても—に對しては、男が女の匂ひを嗅官能に訴へるよりも遙かに敏速で銳敏なのだ、何故か?

そこに、匂ひと香りの微妙な感覺があるからである

女が香、匂に對して男より鈍感、それでゐて香匂の好愛性が強いことは、彼女達の日常生活や歷史が證明してゐる

古代エヂプトの女は香樹の樹脂を、地に穴を掘つて、その穴に一面燻きこめた上に、裸體浴後しばらく横臥した、燻香の烟の腰に薄物ひとつ、燻香の烟に燻べられて、その香が体にしみてくるのを待つた、その後で香脂を全身にすりこませた、すりこむ役目は奴隸の愉樂だつた

クレオパトラはその美貌と艶笑術との外に、男を魅惑する香料をつかつた

しかし、わが國の女性たちの好香趣味にはまた捨てがたいものがある、その國粹的な嗅覺の作用は、俳匠蕪村の句によつても窺はれる

## 蕪村の嗅いだ女の香

いつたい彼くらゐあでやかなものやなまめかしきものに對する嗅覺美を銳く現はしてゐる文人は稀だといへるが、次の三句などはその尤たるものであらう

掛香や啞の娘のひととなり

これは口もきけぬ不具者の娘にも、年頃となれば、やはり、帶の間に匂袋がはさまつてゐることを詠んだもので可憐な清純なしかも、女の匂ひを感ぜしめる

掛香やわすれ貌なる袖疊

これは、前の啞娘の句に較べていかにも女の匂ひの生活的描寫だ、愛情の生活に忙しい女性の匂ひそのものだ

掛香やすれ違ひたる宵の闇

これに至るともはや匂ひの極致であらう、宵闇にふとすれちがつた麗人から、ほのかに匂ふ香は、男の心を怪しくかき立てる、天明の句はいますぐに現代に生きて來る、あまりにゆかしい嗅覺美ではないか

掛香については、蕪村の以上の三句があるだけで、他の俳人にあまり見當らないところをみても、蕪村は嗅覺官に敏感だつたことがうなづける

それにしても丸髷、桃割、高島田、銀杏返の黑髮の香は何か?すつきりした拔け出た襟足からほのかに湧く油や脂の匂ひと、その黑髮の技巧化された異態に浮ぶ匂ひは、眞夏にひやゝかに、眞冬にほのかに暖い

黑髮の匂ひは枕もとにおくに限る、しかし洗髮のすがすがしさは涼み台に限る

## 匂ひの武器

香水で男をたらしたのは、果して犯罪であらうか、催春香水、催情香油、ふら〳〵匂ひ袋、この頃の日本でも工夫されてもよからう

歐羅巴の威嚴も德もない國王や皇后が十八世紀には、皇室の威嚴や神聖を保つために盛んに「皇室香水」が流行した、ヨーク大公などは醜惡な容貌をいゝ匂ひで苦心してであつた、そこへゆくと、十八世紀時代のロシア皇宮ではまだ香水はつかはれてゐなかつた

ビクトリヤ女王の生母ケント公爵夫人は、その當時の勢力ある政治家と面謁するときには、その政治家の好む香水を詳細に調べておいて、部屋に、衣裳にふりちらしておいてから謁見するの用意があつた、パルマーストン卿、ジョンラッセル卿、キャンニング等の政客がこの手でもつて、ケント夫人ビクトリア女王にまゐらされてゐたらしい

骨董品だの賄賂だの女だので政治屋を釣るよりも、香と匂ひで政客をあやつるなんて思つただけでもいゝ匂ひの挿話だ

ビクトリヤ女王は花束香水を愛用し、アレキサンドラ女王は白薔薇水を愛用した、この白薔薇水は歐洲の皇室ではどこでも愛用されてゐたらしい

斯く調べあげてみると、女と匂ひとは、洋の東西を問はず、昔も今も密接不離な關係をもつもので、匂ひこそ女性を、より美しく、より優艷にするものであることがうなづけるではないか

夏・秋
洋服コート類
新京祝町三ノ三(西裕町)
三浦屋質店
電話三七七五番






襖表装作
美術表装全般
窓掛ブラインド
増田洋行
ダイヤ街 電 六一七〇


●已に皆様の定評ある●
うなぎ
蒲丼燒
割烹
藪虎
日本橋通り
電三四四五番

# 結氷期を前にして 國都土建界賑盛
## 七月中の建材高三萬三千瓩
## 競爭白熱化の傾向へ

當地の土木建築工事は引續き賑盛を極め基礎工事材料たる石材類をはじめ内部工事材料たる木材類需要は依然旺んで一方木材類は幾分騰貴を示し最近に至り建築材料商の開店するもの相次ぎ同業者間の競爭白熱化の傾向があるが七月中當地に入荷された建築材料は左の如くである（單位瓩）

| | 七月 | 前月 |
|---|---|---|
| △木材 | | |
| 新京驛 | 一、八三三 | 二、三四七 |
| 東站 | 九、一九六 | 二、六〇一 |
| 寬城子驛 | 三、七〇三 | 五、四三三 |
| △石材砂類 | | |
| 新京驛 | 三、一八九 | 四、八八三 |
| 東站 | 一、八三三 | 一、九六四 |
| 寬城子驛 | ― | ― |
| △鋼及鐵材類 | | |
| 新京驛 | 六、〇九一 | 五、〇七四 |
| 東站 | 四七 | 七〇 |
| 寬城子驛 | 九〇 | ― |

問題等を控へてゐるので從來一名の代表者をも送つてゐなかつた商業團体方面でも眞に「吾らの選良」を選出せんものとより〳〵協議を進めてゐる

# 元關東廳遞信局員 軍事通信行賞發表
## ＝受賞者總人員千九名＝

滿洲事變に依る元關東廳遞信局員の軍事通信行賞は廿四日發表されたが受賞者總人員千九名で内譯は旭日章十二名瑞寶章二百八十二名、賜金七百十五名である
尚階級別は

△高等官
旭日章　三名
瑞寶章　五名
△判任官
旭日章　九名
瑞寶章　二三三名
賜金　一六四名

△雇員
瑞寶章　二九名
賜金　三八三名
△傭人（通信夫及工夫を含む）
瑞寶章　一五名
賜金　一六八名

## 日本橋町内會から 赤内氏出馬か
### 地委戰も次第に活氣づく

地委選擧の近づくにつれて既に自薦他薦の立候補で下馬評を賑はせてゐる、今期は特に附屬地行政權移讓、治外法權撤廢される模様である、期日の切迫とゝもに今期は特にこの種市民の代表者擁立の聲が各方面に起り從來とは人選の面目を一新するものとみられてゐる

る模様で入江滿鐵醫院庶務長小田桐電業局庶務課長、地方事務所社會係高橋清輝氏らの呼聲についで日本橋通加藤洋行寺内淸次氏が日本橋町内會の代表として推薦立候補を慫

# 滿洲一の人道橋

新京の中央部國務院横より新京站に向ふ途中の伊通河の東大橋は昨年迄降雨ごとに交通止めとなつた古ぼけた木橋であつた處今度鐵筋コンクリート橋に架け替へられた、全長一〇四米、巾一八米總工費卅餘萬圓で人道橋としては全滿一を誇るもので九月十五日には盛大な開通式が擧行される事になつた（寫眞　完成した東大橋）

# 加藤牧場の立退き 愈よ早急に實現
## 滿鐵側との交渉漸く成る
## お次は寶山燐寸へ

國都の建設上久しい懸案となつてゐた例の加藤牧場の立退き問題も地方事務所側ではさきに物色した村田遊遞園移轉地の一部約一萬坪を加藤側に分割せしめることに奔走の結果最近漸く話が纏つたもやうで、なほ加藤牧場一部に着手される憲兵隊司令部の増築工事もいよ〳〵差迫つて來たので、加藤側でも意を決しいよ〳〵近々中に立退くことになつた模様で、これが立退き費としては加藤側では約七萬圓を要求中であつたが地方事務所では建物の移轉費として、現在程度の建物を移轉地に新築するに要する一切の費用を評價した程度に止まり、勿論權利金?の如きものが認められない結果多分に減額されたもやうである、右加藤牧場の早急移轉に依つて寶山燐寸工場の移轉もいづれ本年中には行はれるものと見られてゐる

# 皇帝陛下の御師傳 ジョンストン氏
## 拜謁の爲遙々來朝

【東京國通】滿洲國皇帝陛下が嘗て宣統帝に在せし時の師傅、現ロンドン大學支那學教授レジナルド、ジョンストン博士は十年振りで滿洲國皇帝に謁を賜はる爲、その訪滿の途次二十四日朝エムプレス・オブ・ジャパン號で横濱着、直に上京萬平ホテルに入つた博士は六尺豐かな堂々たる體軀で柔和な微笑の中に包み切れぬ喜びをたゝえ左の如く語る

日本には大體二週間滯在する積りです、此度滿洲國皇帝陛下に御眼にかゝれるのは身に餘る光榮と喜んでゐます、私が康德皇帝に御教へ申上げた時帝は未だ御幼少、また極めて困苦な御時でした、然し今日滿洲國皇帝の御位に御着きになつたのも偏へに御困難を堪へさせられた賜と思つてゐます その折早速御祝の御言葉を御贈り致しましたが此度皇帝に謁見を賜るのは自分にとつては何とも言へぬ懷しい感じで感慨無量です

尙博士は外相官邸に外務大臣を訪問更に滿洲國大使館に於て謁滿洲國大使とも會見した博士は廿五日箱根宮の下に赴き初秋の景を探り廿七日歸京同日午後五時から目黑雅敍園で催うされるジヨンストン先生歡迎會に出席の豫定である

## 宮谷法含師歸京

中であつた東本願寺滿洲回敎監督宮谷法含師は廿四日午後五時卅分着あじあで百日ぶりで歸京した

# 青森縣大鰐町 被害甚大

【大鰐町（青森）國通】大鰐町を貫く平賀川の堤防決潰と山津波襲來で日沒までに死者二十五名、行方不明二十七名を出し、大鰐町役場は屋上まで浸水し、雨は二十三日深更なほやまず通信交通機關杜絶し救助不能である

# 秋田、岩手に 豪雨襲ふ
## 稻作被害甚大

【盛岡國通】青森地方を襲つた豪雨は更に岩手、秋田兩縣下を襲ひ二十四日朝來兩縣下の河川とも增水氾濫し目下開花期にある稻作に甚大な被害を與へてゐる、昨年の冷寒で大被害を蒙つた東北地方農村は又も襲つた冷害の危機に天を仰いで嘆息してゐる

# 大哈、直通の あじあ急行料金

九月一日から實施される大連ハルビン間特別急行列車あじあの直通に伴ふ特別急行料金は左の要項による

一、新京、ハルビン間は國幣建、（一等四圓、二等二圓、三等一圓）
一、滿鐵線各驛間は金圓建、滿鐵線、鐵路總局線間直通の際も金圓建

▲三百キロまで一等四圓、二等二圓、三等一圓
▲五百キロまで一等五圓、二等三圓、三等一圓五十錢
▲八百キロまで一等六圓、二等四圓、三等二圓
▲八百一キロ以上一等七圓五十錢、二等五圓、三等二圓五十錢

なほ旅券の下附あり次第廿五日出帆の汽船で上海經アジスアベバに赴くことゝなつた

# ユ社映畫班 エチオピアへ

【上海廿三日發國通】米國ユニバーサル映畫會社ニュース班の上海特派員ハワアード・ウインナー君は廿二日突然ニューヨーク本社から戰雲うづまくエチオピアへ出發の電命に接し伊エ兩國の開戰を豫想してジャーナリステイツクな觀點からユニバーサル社では逸早くニュース班を派遣する事となつたもので同君は旅券

# ダイヤ街の賭博場
## 一つ家營業停止
### 千五百圓の宴會もフイにし
### 惡の報ひは覿面

市内ダイヤ街料亭一つ家こと龜井アイ方三階十五號室に於て同居石井健治、龜井アイ、藝妓呂之助らは市内カフエー主、料亭板場數名を語らひ一同車座となり「カブ」と稱する賭博を開帳し數千圓の大勝負をなしたこと石井健治らが抱藝妓を虐待したことから端なくも暴露し二十二日關係者は一網打盡檢擧された が料亭一つ家主龜井アイは自宅を賭場に開放したことにより賭博の罪とは別に料理店營業取締規則第十七條により二十五日より四日間營業を停止された、同店は二十六日滿洲國財政部の大宴會を引受けてゐたところこの痛事にすつかり悲鳴をあげてゐる、なほ

本年四月十六日午後十一時五十分頃から翌日午前二時頃まで

## 檢擧

前に内地へ旅行してゐる石井健治は一つ家に同居し料理店は龜井アイの名義にし已は藝妓置屋を經營してゐるので新京署では取調の上何分の處分されるものと見られてゐる

# 新京聯合防護團 共同幹部懇談會議

新京警備司令部及新京聯合防護團共同幹部懇談會議は二十四日午後一時半よりヤマトホテル會議室にて開催、關東軍より平田參謀、警備司令部側より濱本警備司令官、淺井警備隊長、聯合防護團側より武田防護團長、高木總務部長等幹部三十四名集合先づ團長の凱旋に對する送別の辭ありて挨拶、警備司令官の挨拶に次で團幹部菅波大尉の内地新京防護團結成の經過より懇談を初め、同團教育訓練計畫及び懸案となれる防護地區の改編特殊防護團の取扱、防護團基幹要員に對する特別教育等に就き懇談を重ね同四時半終了

# 洮大線附近の兩縣下 ペスト禍詳報

洮大線附近ペスト發生狀況につき通遼ペスト調査所より新京署衞生係宛報告によれば（一）既報鎭山縣に於ける疑似ペストは動物培養試験の結果二十三日午後五時眞性ペストと決定した、なほ隔離患者中三名は去る二十二日死亡し現在患者三名あり（二）雙山縣第三區コオウンり（人口八九五）に居住せる男サイサリン（當二十八年）は本月十九日發病し同二十一日死亡、症狀は頭痛發熱淋巴腺肥大なりしと、同地には現患者一名（男十一年）あり發熱二十七度五分にしてペストの疑ひ濃厚なり

なほ鐵路局では平齊線大平川鄭家屯間各驛に於て警務段によつて乘客の監視中であるが更に臥虎屯、茂林大平川各驛に防疫員を配置の豫定

事務打合せのため京都に歸省

# 9A―2 恐るべき健棒陣 藤倉軍快勝
## ＝對滿洲國軍第一回戰＝

| 回數 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （藤倉） | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | A | 9 |
| （滿）先 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |

新京倶樂部と大接戰を交へファンの血を沸かした藤倉電線對滿洲國一回戰は二十四日午後四時十分から淺香（球）小淵、三輪（壘）三審判の下に滿洲國先攻で開始された、一回滿洲國一點を先取すれば藤倉二點を入れ一點をリード更に三回藤倉二點を加へ勝敗を決したが七回滿洲國一點をむくひたが裏滿洲國の陣容の崩れに乘じ總攻撃となり五點の大量點總で大勝した

一回（滿）二死後二木左中間安打、赤木四球、深瀨左間中安打に二木生還一點を先取▲（藤）眞野左中間三壘打をカッ飛し栗野四球二盜を企て捕手の惡球に刺るこの間眞野生還一點を返す、菊谷三邪飛、荒川四球、幡村左翼安打續く兒島二壘左を拔く安打に荒川生還、内海遊匍に兒島封殺、二回（滿）木村四球平田のバンドに惡らる、西村中前安打に木村一挙本壘を衝いて憤死佐々木右飛、▲（藤）郡司四球上野投前バンドに封殺眞野三匍に上野封殺栗野中飛三回（滿）水原四球高橋二飛二木四球、赤木二飛、深瀨中飛、▲（藤）菊谷投手右强襲滿壘のチャンスを迎へた（深瀨中堅、高橋右翼、水原投手に變る）續く兒島中越二壘打に菊谷荒川生還（内海投匍郡司遊匍上野二匍四回滿三者凡退▲眞野投匍栗野中飛菊谷右翼深く投ち込んだが高橋好走して捕ふ

五回（新）佐々木左飛、水原二匍、高橋三振▲（藤）荒川中前安打幡村二匍に封殺兒島内海ともに四死に惡られ滿壘となる郡司中飛、上野投匍滿洲國危機を脱す

六回（滿）二木遊直球赤木二匍、深瀨遊直球▲（藤）二死後菊谷荒川、幡村共に四球滿壘となつたが兒島中飛に終る七回（滿）二死後西村右翼安打佐々木右翼越三壘打をカッ飛し西村生還一點を返す水原死球高橋四球に惡られ滿壘のチャンスを迎へたが（藤倉上野投手退き中村に變る）二木三匍に水原封殺▲（藤）（水原退き深瀨變る）内海右中間安打、郡司一壘線上に沿ふバンドは内野安打となり更に投手の一壘暴投に走者壘進深瀨退き水原再び變る中村左翼を拔く安打に内海生還續く眞野左翼越二壘打に郡司生還栗野三飛、菊谷右翼安打に上野生還、荒川一飛、幡村一、二間安打兒島四球、内海遊匍暴投に菊谷生還郡司投匍

八回（滿）藤倉菊谷退き畑變る赤木二匍深瀨遊匍失に生き木村投匍平田左飛▲（藤）中村左飛眞野二飛栗野三匍

九回（滿）西村二飛佐々木二壘越安打、水原二匍に封殺高橋遊擊右を拔く安打、二木右飛内涙を呑む閉戰六時（寫眞一回表　赤木本盜を企て刺さる）

▲三壘打佐々木、眞野
▲二壘打二木、眞野、兒島

## けふの野球試合

滿洲國對藤倉電線
午後三時西公園球場
後援　新京日日新聞社

## 第一次秋季競馬 六日目成績

▲第一競馬（九頭）一、八〇

# 愛よ戰ひとれ

（十四）

（舞臺上演映畫化）福田正夫　泉武久畫

奇遇（六）

しばらくして邦雄は氣が引けたやうに鄙子をみつめた。

「松本さんの孃さんは、どんな人だね」

「いゝ人よ!」

鄙子は信じてゐるらしかつた。

「少し我儘だけれど、それも身分がいゝからよ。ほんとは寂しがつてゐるの。お友達もないし……」

彼女は少し考へてから、つけ足したのである。

「身分のいゝ人は苦しいのね」

「なぜだい?」

「身分にしばられてしまふからよ、お孃さんは音樂家になりたいなんていつてるの、でもそんなこと許されやあしないわ。私……それだから舞踊を敎へてあげる約束したの。喜んでゐらしつたわ」

「舞踊だつて!」

「あー」

鄙子はぽつと頬を紅らめてしまつた。

「私、うつかり……」

「いゝぢやないか」

「さういへばあなた、C大で拳鬪の主將だつたんでしよ」

「あゝ、そんなこともあつた…」

「なぜその方へ進まないの」

「さあ、職業としちやあねえ。……親父も承知しまいし……」

彼は笑つた。

「僕なんて、志願兵に取られてゐる間に、就職戰線から完全にノック・アウトされちやつたんだ。でも、これからやるつもりだ、論文を受けてね」

「お役人より拳鬪家の方がいゝわ」

「鄙さん新しいんだね。……それで舞踊なんておぼえたな」

「まあ!」

「白状おしよ、鄙さん?」

「いやだわ」

「しないと故鄕の方にいひつけるよ」

「あら、いけないわ」

彼女がほゝえんだ。

「私ね、實は女學校を出ると、すぐ金井舞踊へ入所したのよ」

「東京の?」

「えゝ」

このつゝましい少女が? と邦雄は鄙子をみつめた。

「私、家がいけないでしよ。だから自活したいし、出來るなら……家を助けたいの。弟もこれから上の學校よ」

「なるほどねえ」

「けれど、あんまり練習が嚴しくて、それに……」

彼女はうなだれた。

「授業料が拂へなくなつたの。……それで伊野のお姫さまにおすがりして、松本さまへ入れて頂いたの」

「故鄕へは、いつてあるのかい?」

「いゝえ、タイピストの學校にゐることになつてゐたの、今は別だけれど……」

「僕だつて同じさ」

邦雄は苦しさうに笑つた。

「出世すりやあ美談だけれど、お互に苦しいねえ」

「えゝ。……でも私、あなたに逢へてうれしいわ」

「僕だつてね」

「これから、力になつてね」

「お互だよ」

「ほんと!」

鄙子の瞳が、急に美しく燃えたのである。

# 皮膚内深く棲む寄生虫やバクテリヤを潰滅する滲透療法の威力

滲透作用に依つて深くバイキンや寄生虫の本據を衝く根本的治療法が發見せられ、從來最難事とせられた皮膚病も簡單に癒すことが出來ます

## 皮膚病は怖しい

皮膚病と言ふと簡單に見えるがこれ程怖しいものはない。ほんの僅な部分が惡くても、痒い痛いで氣分が晴れず、食事も進まず、夜もオチ〳〵眠られないで、神經が衰弱し、仕事の能率が減じてしまふ。まして顏や手足に皮膚病が出て居れば、醜ながられるばかりでなく、惡い病氣でもありはせぬかと嫌がられて、その爲に縁談が不調になつたり、就職を斷はられたりすることがあるので、我々人間生活に影響が大きいのである。

## 文化病といはれる

世の中が進歩するに從つて、人の中へ出る機會が多くなる。汽車の窓にも旅館の器物にもバイキンは夥しく着いて居る。又靴を穿く人で水虫に犯されぬ者が果して何パーセントあるだらう。「何の水虫位」と捨て置いた爲恐しい蜂窩織炎といふ病氣になつて手術をせねばならぬ樣になる。文化は交通を頻繁にし、洋裝生活を强ひ、皮膚病を殖やすので、世人がこれを文化病と言ふのも强ち無理ではないのである。

## 餘病の併發を警戒せよ

皮膚病で命を墜すと言つたら「マサカ」と信じない人もあらうが、其例は限りなくある。痒い所を爪で掻いた爲、其場所からバイキンが侵入して、丹毒とか敗血症とかの、死亡率の非常に大きい病氣になることがある。

## 寄生虫が皮膚内部にウヨ〳〵する

皮膚の内部には恐しい寄生虫が這入り、それがたむしとかいんきんとかになるので、而も其等は深く皮膚の内部に入り込み、或はトンネルを掘つて吾々の柔かい皮膚をむさぼり喰つて生きて居る。一度是を顯微鏡で見たものは誰でも彼等のシツコイ、强い、そして憎い生活振りに身の毛のよだつ思ひがせぬものはなからう。

何によらず皮膚病は治つたり再發したり之を繰り返して永年苦しむのが普通である。藥をつけて治つたと思ふのが實は素人考へで、皮膚の外面からする塗布藥は、單に表面を消毒するか又は遊びに出て居る寄生虫をビツクリさして、中の方へ逃げ込ませるだけの効果しか見られぬのである。此から考へて見れば皮膚病は皮膚の深部まで効力の及ぶ藥劑でなければ完全とは言ひ得ない。

## 皮膚病に對する滲透療法の成功

皮膚の深部に達する外用藥としては理論上必ずしも無い譯ではないが、牛刀鷄を殺すの類で、刺戟が强過ぎる爲連續して用ゐる事が出來ぬとか（これは小兒に對して最も大切なことである）、或は却つて炎症を增して不結果を來すとか、乃至は藥の作用が餘り激烈なため、皮膚組織を破壞して、後に醜い瘢痕を遺すとか、中々思ふやうな良い藥が無かつたのである。

これについて專門家が努力研究の結果、滲透壓及毛管現象の理論を應用して、表皮角層下に滲透し眞皮にまで到達する卓越な殺菌、消毒、治癒の作用を發揮し、而も小刺戟にして副作用の伴はざる理想的の藥劑の發見に成功した。

これは「皮膚チャージ」と言つて今全國的に賣出して居るが、理論の難しい割合に使用法は簡單で價も安く、從來難事とされた皮膚病治療上に好評を博して居る。



汚れず痛まず而も皮膚深部に滲透し、消毒、殺菌、治癒の三作用を發揮します。只一日數回外部から筆て塗るか又は脱脂綿で擦り込めば宜しいのです。